2015年4月　第1版

取扱説明書

HOME SPOT CUBE2

ごあいさつ

このたびは、HOME SPOT CUBE2（以下、「本製品」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用の前に『取扱説明書』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「1－4 安全上のご注意」(p.10)をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、本書の「第7章 故障とお考えになる前に」(p.138)で症状をご確認ください。

本製品をご利用いただくにあたって

- 本製品は国内でのご利用を前提としています。国外に持ち出しての使用はできません。

  (This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

第 4 章　他のスマートフォンやパソコンを接続する.58

第 5 章　使いこなす 75

第 6 章　詳細設定(メニューリスト) 119

第 7 章　故障とお考えになる前に 138

はじめに

1−1 本製品の特長

つながる

auのスマートフォンはもちろん、2.4GHz帯(IEEE802.11b/g/n※1)/5GHz帯(IEEE802.11a/n※1/ac※2)の同時利用ができるので、ご自宅のパソコンなどお手持ちのWi-Fi搭載機器で、Wi-Fiを快適にご利用いただけます。

※1 11n 最大300Mbps
※2 11ac 最大866Mbps

かんたん

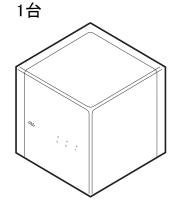
スマートフォンのアプリ(au Wi-Fi接続ツール)を利用して設定することにより、
簡単にWi-Fiが始められます。
一度設定すれば、次回使用時に設定の必要はありません。

あんしん

盗聴や不正利用を強力に防止する高セキュリティな暗号化方式(WPA2)に対応しています。

1−2 同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がそろっていることをご確認ください。

● HOME SPOT CUBE2
1台

● LANケーブル（試供品）
1本

● ACアダプタ
1個

● はじめてガイド
1枚

はじめてガイド
その1：準備をしましょう
その2：CUBE2とつなぎましょう

● セーフティガイド
1冊

HOME SPOT CUBE2

● 保証書
1枚

au 保証書

品名	無線LAN ルータ本体(注)
商品名	HOME SPOT CUBE2 (型式名称ECS31RWA)
製造番号※	
保証期間	お買い上げ日より１年
お買上げ日※	年　月　日
お客様	お名前:　様 ご住所: 電話番号:

販売店※	店名・住所 電話番号

＊本書記載の機器は、交換や点検の場合、登録された情報内容(各種設定などの内容)が変化、消失するおそれがあります。情報内容は、別にメモを取るなど必ずお控えください。情報が変化、消失したことによる損害などの請求につきましては、一切責任を負いかねますので、予めご承知ください。

＊本保証書は、本書に明示した期間、条件のもとで、無償交換(新品に準ずる状態)をお約束するものです。従って、本書によって保証書を発行している者(保証責任者)及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の交換についてなどご不明点は、KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)お客さまセンター(右記)及び、auショップなどにお問合せください。

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

(注)・付属のLANケーブルは無償交換保証の対象外です。
・お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・交換した商品は、弊社にて引き取らせていただきます。

お問い合わせ先番号　お客さまセンター
下記電話番号は年中無休／オペレータ対応は９：００～２０：００
一般電話からは　0077−7−111（通話料無料）
au電話からは　局番なしの157（通話料無料）
上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)
0120−977−033 (沖縄を除く地域)
0120−977−699 (沖縄)

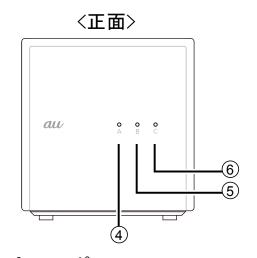
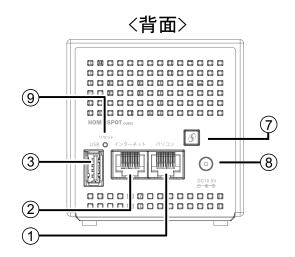
発売元：KDDI株式会社　東京都千代田区飯田橋３丁目１０番１０号
沖縄セルラー電話株式会社　沖縄県那覇市松山１丁目２番１号
輸入元：株式会社エクセル
製造元：ASKEY COMPUTER CORP.

お読みください

● 本書で使用している本製品のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。
● 本製品についている透明フィルムは、はがしてからご利用ください。

1−3 各部の名称とはたらき

<正面>

<背面>

① パソコンポート
ネットワーク機器をLANケーブルで接続します。
誤挿入防止シールが貼られています。パソコンポートへの接続が必要な場合は、はがしてお使いください。

② インターネットポート
モデム/ルータ/ONUをLANケーブルで接続します。

③ USBポート
USBポートは当社によるメンテナンスに利用します。外付けハードディスクなどの機器を接続してもご利用になれませんので予めご了承ください。また、当該ポートへの接続は故障の原因となりますのでご遠慮ください。

④ LEDランプ A（緑/オレンジ/赤）
電源の状態を表します。
詳しくは「8−1−2 LEDランプの表示」（p.157）をご覧ください。

⑤ LEDランプ B（緑/赤）
インターネットの状態を表示します。
詳しくは、「8−1−2 LEDランプの表示」（p.157）をご覧ください。

⑥ LEDランプ C（赤）
PPPoEの状態を表示します。
詳しくは、「8−1−2 LEDランプの表示」（p.157）をご覧ください。

⑦ WPSボタン
押すことでWPS接続をすることができます。詳しくは、「4−1 WPSで接続する」（p.60）をご覧ください。

⑧ 電源端子
付属のACアダプタを接続します。

⑨ リセットボタン
5秒以上長押しすると、本製品を初期化します。詳しくは、「7−3 本製品を初期化するには」（p.152）をご覧ください。

1−4 安全上のご注意

1−4−1 本書の表記方法について

表記と記号について

・表記

「　」で囲まれた文字はウィンドウ名、名称、入力する内容などを示します。

[　]で囲まれた文字は画面のボタン名を示します。

例えば、[次へ]は、次へ(N)> を示します。

<　>で囲まれた文字はキーボードのキー名を示します。

例えば、<Enter>は、キーボードのEnterキーを示します。

・記号

「お読みください」は、お読みいただきたい注意事項を記載しています。

「ワンポイント」は、ワンポイント情報などを記載しています。

「こんなときには」は、困ったときに役に立つアドバイスを記載しています。

掲載されているイラスト・画面表示について

- 本書に記載されている画面は一例です。ご利用の端末により画面は異なります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で使用している本製品のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

1－4－2 免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記載内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『取扱説明書』（本書）の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 事故や本製品の故障・その他取り扱いによって、本製品に登録された設定データなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- お客様ご自身で本製品に登録された情報内容は、コンピュータのハードディスクなどに保存したり、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本製品の故障や機種変更やその他取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が変化、消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず、当社としては一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元：KDDI 株式会社・沖縄セルラー電話株式会社
輸入元：株式会社エクセル
製造元：ASKEY COMPUTER CORP.

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

1−4−3 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

● この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

● 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

⚠危険	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷※1を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が軽傷※2を負うことが想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷 :失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷 :治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害 :家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。
プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示す記号です。

本体、ACアダプタ、周辺機器共通

危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

指示

必ず専用の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障の原因となります。

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

禁止

電子レンジなど加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

禁止

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

禁止

接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。発熱による火災・故障・やけどの原因となります。

禁止

ACアダプタをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。

分解禁止

お客様による分解や改造、修理などをしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

禁止

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止

本製品が落下などによって破損し、機器内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。

禁止

乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

水ぬれ禁止

濡れ手禁止

水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食が発生し、発熱による火災・故障・やけどの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となります。

禁止

使用中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

⚠ **注意** 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・変形・故障の原因となる場合があります。

禁止

風通しの悪いところに置かないでください。
● 押し入れや本棚などに押し込まない
● じゅうたんや布団などの上に置かない
● テーブルクロスなどをかけない
● 梱包品やビニール袋などに入れたまま使用しない内部に熱がこもり、火災、感電、故障や変形の原因となることがあります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。故障・傷害の原因となります。

禁止

外部から電源が供給されている状態の本体、ACアダプタに長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

禁止

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁止

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

禁止

ケーブルをつけたまま持ち運ばないでください。
火災、感電の原因や、つまづいてけがの原因になります。
ACアダプタの接続端子や、機器間のケーブルを外したことを確認のうえ、移動してください。

指示

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。異常が起きた場合、ACアダプタをコンセントから抜き、auショップまたはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたはお客さまセンターまでご連絡ください。

指示

外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししないと、発熱・発火・破損・故障の原因となります。

本体について

⚠ 警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。
※ただし、一部航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

禁止

自動車内で使用しないでください。まれに車載電子機器に影響を与える場合があり、安全走行を損なうおそれがあります。

指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では本製品の電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して使用してください。
2. 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
3. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

⚠ 注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所	使用材料
外装ケース	PMMA(アクリル)/PC(ポリカーボネート)
シリコンゴム足	シリコンエストラマー
インターネットポート/ パソコンポート	PBT(ポリブチレンテレフタレート)
WPSボタン	PC(ポリカーボネート)
USBポート	銅合金＜ニッケルメッキ＞
ACアダプタ本体	PC(ポリカーボネート)
ACアダプタコード部分	テフロンチューブ
ACアダプタ電源プラグ	黄銅＜ニッケルメッキ＞ PC＋ABS(ポリカーボネート＋ABS樹脂)
LANケーブル	PVC(ポリ塩化ビニール)
LANケーブルジャック	PC(ポリカーボネート)
誤挿入防止シール	PC（ポリカーボネート）
本体保護フィルム	PET（ポリエチレンテレフタレート）

指示

通信中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となるおそれがあります。また、本体に貼ってある透明フィルムは必ずはがしてからご利用ください。

ACアダプタについて

⚠ 警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電・傷害などの原因となります。
● ACアダプタ：AC100V~240V

ACアダプタの電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災・傷害の原因となります。傷んだACアダプタやゆるんだコンセントは使用しないでください。

付属のACアダプタを、本製品以外に使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ACアダプタの電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・ショート・火災・傷害の原因となります。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

お手入れをするときは、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。また、AC アダプタの電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。

指示

長時間使用しない場合はACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。火災・故障の原因となります。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

プラグを
コンセント
から抜く

長時間使用しない場合はACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。火災・故障の原因となります。

水ぬれ禁止

水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障・傷害の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。

注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

水ぬれ禁止

濡れ手禁止

風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電や故障・傷害の原因となります。

プラグを
コンセント
から抜く

ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

1−5 取り扱い上のお願い

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

1−5−1 本体、ACアダプタ、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。（周囲温度0℃～40℃、湿度20%～85%の範囲内でご使用ください。）

- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。

- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となることがあります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。

- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、本体に傷がつく場合があります。本体に水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。

- ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。

1－5－2 本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃を与えないでください。傷の発生や破損の原因となることがあります。

- ボタンの表面に爪や鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因になります。

- 本製品底面に貼ってある製造番号の印刷されたシール内に表示された「技適マーク」は、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。

- 改造された機器は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク」が本製品底面のラベルに表示されております。
  本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。

- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因になりますのでご注意ください。

- 長時間連続して使用し続けた場合などは、本体の一部が温かくなり、長時間皮膚が接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。

- 本製品を拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。

- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。

- 静電気に注意してください。
本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となるおそれがあります。本製品を設置する際は、コネクタや取り付け部分に触れないなどの注意をしてください。

- ご利用のパソコンのデータのバックアップを取得してください。
本製品のご利用にかかわらず、パソコンのデータのバックアップを定期的に取得してください。万一不測の事態が発生し不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、当社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。

1−5−3 ACアダプタについて

- ご使用にならないときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントから外してください。

- ACアダプタの電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電、発熱、火災・傷害の原因となります。

- ACアダプタのプラグと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災・傷害の原因となります。

1−6　無線LAN (Wi-Fi®) 機能を使用する場合のお願い

1−6−1　周波数帯について

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯と5GHz帯の周波数を使用します。

2.4 DS/OF 4

2.4：2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。
DS／OF：DS-SS方式およびOFDM方式を表します。
4：想定される干渉距離が40m以下を表します。
▬▬▬：全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能なことを表します。

本製品が使用するIEEE802.11aとIEEE802.11acとIEEE802.11nのチャンネルは36、40、44、48ch（W52）と52、56、60、64ch（W53）と100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch（W56）です。
34、38、42、46ch（J52）を使用する無線機器（アクセスポイントやクライアント）とは通信できません。

IEEE802.11b/g/n
IEEE802.11a/n/ac
J52 W52 W53 W56

W52（5.2GHz帯　36、40、44、48ch）が利用できます。
W53（5.3GHz帯　52、56、60、64ch）が利用できます。
W56（5.6GHz帯　100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）が利用できます。

W53（52/56/60/64ch）またはW56（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。

- 各チャンネルの通信開始前に、1分間レーダー波を検出します。その間は通信できません。
- 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャンネルを変更します。その間は通信が中断されることがあります。

IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz）およびIEEE802.11a、対応製品に関して通信利用時に5GHz帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられております。

1－6－2 無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い

- 無線LAN機能は日本国内でご使用ください。本製品の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。

- 電気製品・AV機器・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。

- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

無線LANご使用上の注意

本製品の無線LAN機能の使用周波数は2.4GHz帯と5GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

本製品はすべての無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべての無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。

1－6－3　無線LAN製品のセキュリティに関するご注意

（お客様の権利、プライバシー保護に関する重要な事項です）

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
- IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）。
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）。
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）。
- コンピュータウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）。

などの行為をされてしまう可能性があります。

悪意のある第三者が本製品を利用して、他のコンピューターへ不正に攻撃を行うなどの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN機器のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関するすべての設定をauホームページより取扱説明書に従って行ってください。なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

セキュリティ対策を施さず、あるいは無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

1−7 ファームウェアバージョンアップにおける機器情報の扱いについて

本製品には、ソフトウェアに重要な更新※があった場合、自動でバージョンアップする機能が搭載されています。
この機能に必要な本製品の機器情報を当社のサーバーに通知いたします。

1. 通知される機器情報
   ●お客様がご使用になっている本製品の機器情報
   ●お客様がご使用になっている本製品のファームウェアのバージョン

2. 情報利用の目的について
   本機能の実現と本製品や本機能の改善、向上のためにお客様の機器情報を利用いたします。
   お客様の機器情報は、本機能を実現するために利用し、これ以外の目的では利用いたしません。

3. 情報の管理
   当社が利用するお客様の情報につきましては、当社のプライバシーポリシーに則り、適切な管理を行います。

※「重要な更新」とは、当社が本製品の機能を提供するうえで、ソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合を示します。重要な更新がある場合は、当社ホームページにてご案内します。

準備する

インターネットに接続するまでの手順

第2章　準備する

2－1　（p.30）
必要なものを準備する

2－2　（p.30）
現在のネットワーク状況を確認する

2－3　（p.33）
本製品と利用する通信機器を接続する

第3章　auのスマートフォンを接続する

3－1（p.38）
1. Android編（「au Wi-Fi接続ツール」を使う）（p.38）
2. iPhone編（「auお客様サポートページ」から設定する）（p.45）

3－2（p.57）
インターネットにつながるかを確認する

第4章　他のスマートフォンやパソコンを接続する

4－1　WPSで接続する（p.60）
4－2　手動で接続する（p.64）
4－3　有線で接続する（p.73）

4－4（p.74）
インターネットにつながるかを確認する

インターネットをご利用いただけます。

2−1 必要なものを準備する

以下のものを準備してください。

必ず用意するもの

- 本製品、付属のACアダプタおよび付属のLANケーブル（試供品）
- インターネットに接続したいスマートフォンまたはパソコン

必要に応じて用意するもの

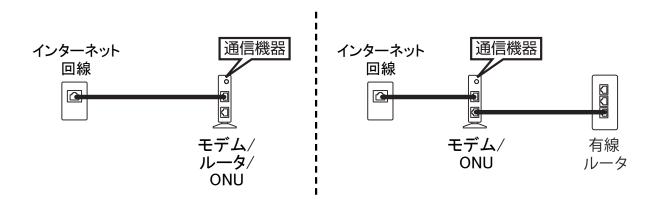
- LANケーブル（パソコンを有線接続するときのみ必要）
- インターネットに契約したときの書類（インターネットの契約をしてないときは、事前にインターネット回線を用意してください。）

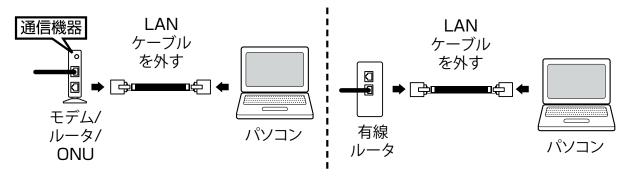
2−2 現在のネットワーク状況を確認する

はじめに、現在のインターネットの接続状況を確認します。

2−2−1 通信機器を使用して、パソコンを有線接続しているとき

通信機器や有線ルータを使用して、有線でインターネットに接続しているときは、以下の手順で確認作業をしてください。

1 インターネット契約時にプロバイダから、購入・レンタルした通信機器があるかを確認する

2 パソコンの電源を切って、パソコンと通信機器を接続しているLANケーブルを外す

通信機器や有線ルータのLANポートに空きがある場合は、LANケーブルを外す必要はありません。

これで確認作業は完了です。「2－3 本製品と利用する通信機器を接続する」(p.33)へお進みください。

2−2−2 インターネットマンションなどで、パソコンを有線接続しているとき

インターネットマンションやホテルの客室で、有線でインターネットに接続しているときは、以下の手順で準備してください。

1 パソコンの電源を切って、パソコンとLANポートを接続しているLANケーブルを外す

これで準備は完了です。「2－3 本製品と利用する通信機器を接続する」(p.33)へお進みください。

2−2−3 無線ルータを使用して、パソコンを無線接続しているとき

無線でインターネットに接続しているときは、特に準備は必要ありません。

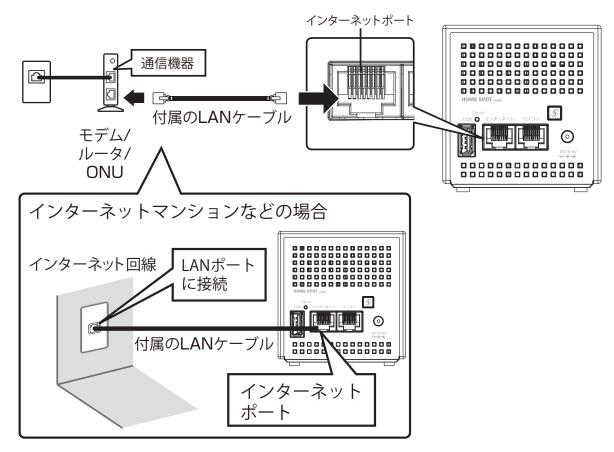
「2−3 本製品と利用する通信機器を接続する」(p.33)へお進みください。

2−2−4 今回はじめてインターネットに接続するとき

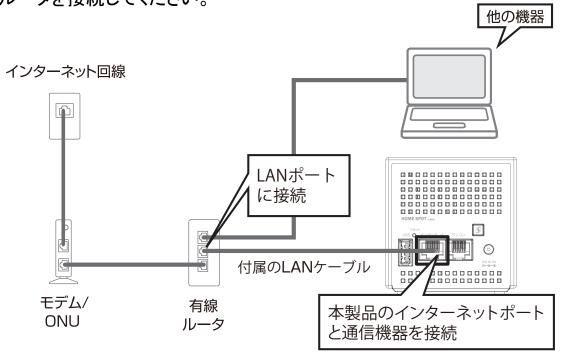
インターネットにはじめて接続するときは、通信機器が設置されているかを確認してください。

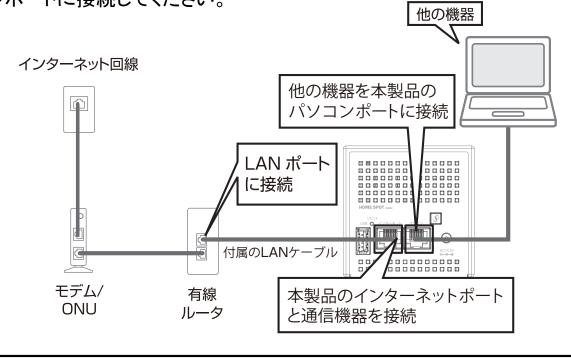
「2−3 本製品と利用する通信機器を接続する」(p.33)へお進みください。

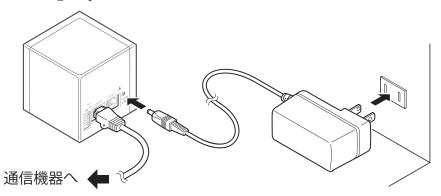
2−3 本製品と利用する通信機器を接続する

1 付属のLANケーブル(試供品)を使って、本製品背面のインターネットポートにインターネット回線を接続する

配線について

通信機器のポートに空きがある場合

付属のLANケーブルを使って、本製品のインターネットポートと通信機器や有線ルータを接続してください。

通信機器のポートに空きが無い場合

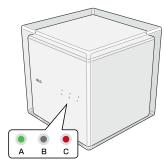
通信機器や有線ルータに接続されている機器を取り外して、通信機器や有線ルータと本製品を接続します。その後、本製品のパソコンポートに貼ってある誤挿入防止シールをはがし、取り外した機器を本製品のパソコンポートに接続してください。

2 付属のACアダプタを本製品とコンセントにつなぐ

本製品には電源ボタンがありません。電源を入れるときは、本製品背面の電源端子に付属のACアダプタを接続し、ACアダプタをコンセントに接続してください。

お読みください

● 本製品の電源を入れてから、LEDランプ Aが緑点灯するまで2分ほどかかります。
本製品が起動するまでは、電源を切らないでください。

3 LEDランプ Aが緑点灯することを確認する

お読みください

● 正しく接続してもLEDランプCが赤点灯するときは、本製品にインターネットの情報を登録する必要があります。「第3章　auのスマートフォンを接続する」(p.37)または「第4章　他のスマートフォンやパソコンを接続する」(p.58)で本製品に接続した後、「5－7－2 PPPoE接続に変更する」(p.95)をご覧いただき、プロバイダ情報を登録してください。

以下に該当するお客様

● 本製品のLEDランプAが赤点滅し、インターネットにつながらない。
● 本製品のLEDランプBが緑点滅し、インターネットにつながらない。
● 本製品のLEDランプCが赤点灯し、インターネットにつながらない。
● 本製品を使用する前、PCからPPPoE接続ツールを使ってダイヤルアップの操作をし、インターネット接続していた。
● フレッツ光など(※)の接続サービスで、ONUやxDSLモデムから直接PCを接続していた。

本製品を利用する際にPPPoEの設定が必要になります。
スマートフォンまたはPCの接続完了後、「5－7－2 PPPoE接続に変更する」(p.95)を参照し設定してください。
※ フレッツ光、フレッツADSL、eo 光、ピカラ光、MEGA EGG、BBIQなどはPPPoE接続のサービスです。
PPPoE設定が必要かどうかや、ユーザ名やパスワードの入手方法については、ご契約のプロバイダにご確認ください。

- CATV回線をご利用中で、本製品を接続したあとにLEDランプ Bが赤点灯のままの場合は、以下をお試しください。
  ① 通信機器から本製品などの接続を取り外す。
  ② 通信機器のコンセントを抜いて再度入れ直す。
  ③ 通信機器に本製品を接続する。

これでインターネットへの接続作業は完了です。
「第3章　auのスマートフォンを接続する」(p.37)または
「第4章　他のスマートフォンやパソコンを接続する」(p.58)へお進みください。

auのスマートフォンを接続する

※　この章では「au Wi-Fi接続ツール」「auお客さまサポート」ページを使ってauのスマートフォンを接続する方法について説明します。

※　auのスマートフォン以外の接続方法は、「第4章　他のスマートフォンやパソコンを接続する」(p.58)をご覧ください。

※　「au Wi-Fi接続ツール」の詳しい使いかたについては、auホームページをご参照ください。

※　お使いのスマートフォンの機種やソフトウェアのバージョンにより画面が異なります。

3−1 設定する

3−1−1 Android編（「au Wi-Fi接続ツール」を使う）

1 **お使いのauスマートフォンの電源を入れる**

2 **au MarketまたはGoogle Playストアより、「au Wi-Fi接続ツール」をダウンロード(インストール)する**

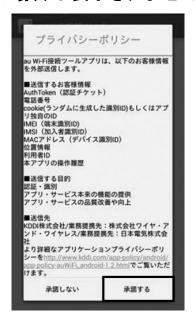
※「au Wi−Fi接続ツール」があらかじめインストールされているときは、手順❷をとばして手順❸に進んでください。

3 **「au Wi-Fi接続ツール」を起動する**

4 **内容をご確認のうえ［同意する］をタップ**

アプリケーションの動作説明が表示されます。内容を確認し、[同意する]をタップしてください。
[同意しない]をタップすると、アプリケーションを終了します。
●すでに同意済みの場合は表示されません。

5 内容をご確認のうえ［承諾する］をタップ

●すでに承諾済みの場合は表示されません。

6 内容をご確認のうえ「同意する」をタップ

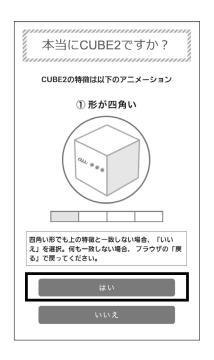
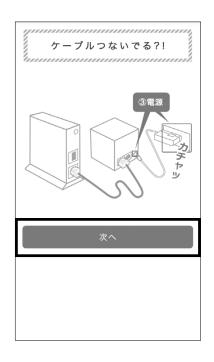
● お使いのアプリによっては画面が表示されないものもあります。
● すでに同意済みの場合は表示されません。

［おうち利用の設定］をタップ

8

［かんたん接続のご利用はコチラ］をタップ

［au HOME SPOT CUBE2］をタップ

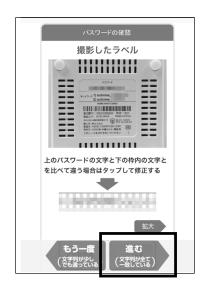
10 CUBE2の特徴を確認し［はい］をタップ

11 ケーブルがつながれているかを確認し［次へ］をタップ

12 カメラマークをタップ

『ご利用にあたって』をお読み頂き、同意のうえをタップしてください。

13 ［送信］をタップ

撮影した画像を撮り直す場合は をタップし、もう一度撮影してください。

14 パスワードと枠内の文字列を一致させて［進む］をタップ

撮影したラベルのパスワードと下の枠内の文字列を比べて違う場合は該当箇所をタップして修正してください。

15
CUBE2接続確認
接続チェック中です。

16
完了

以下の画面が表示され、スマートフォンのステータスバーにWi-Fiアイコン が表示されていれば、インターネット接続は完了です。

以上で接続は完了です。「3－2 インターネットにつながるかを確認する」(p.57)へお進みください。

ワンポイント

●画面の内容は変更されることがありますが、画面の案内のとおりに操作いただければ設定できます。

3－1－2 iPhone編(「auお客様サポートページ」から設定する)

事前にご準備ください。

● iPhoneのWi-Fi設定を「オン」にしてください。
　① ホーム画面で「設定」をタップする
　② 「Wi-Fi」をタップする
　③ Wi-Fiを「オン」にし、⊡(ホームキー)を押す

ワンポイント

● 「au Wi-Fi接続ツール」を使う場合は、App Storeから「au Wi-Fi接続ツール」をダウンロードしてください。
　※ App Storeのご利用にはApple IDが必要です。
　※ ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

● 「au Wi-Fi接続ツール」の使いかたは、「3－1－1 Android編(「au Wi-Fi接続ツール」を使う)」(p.38)をご参照ください。

● 「auお客さまサポート」ページを使わずに、本製品と手動で接続する場合は、「4－2－1 他のスマートフォン編」(p.65)をご覧ください。

1 ホーム画面で「Safari」を起動する

2 ブックマークから[auお客さまサポート]をタップ

Safariのブックマークを開き、一覧から[auお客さまサポート]をタップします。

3 ［iPhone(iOS 8)設定ガイド］をタップ

※お使いのiOSのバージョンにより、表示される内容が異なる場合があります。

4 画面をスクロールして［iPhoneをもっと使いこなすための設定］をタップし、［自宅や外出先でWi-Fiを使いたい］をタップ

5 ［自宅のWi-Fi設定(宅内無線LAN)］をタップ

［かんたん設定へ］をタップ

7

［かんたん接続のご利用はコチラ］をタップ

8 ［au HOME SPOT CUBE2］をタップ

9 CUBE2の特徴を確認し［はい］をタップ

10 ケーブルがつながれているかを確認し［次へ］をタップ

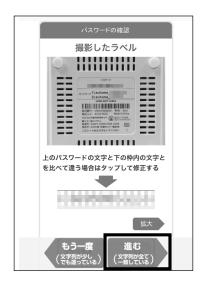
11 ［カメラマーク 📷 ］をタップ

『ご利用にあたって』をお読み頂き、ご同意のうえ 📷 をタップしてください。

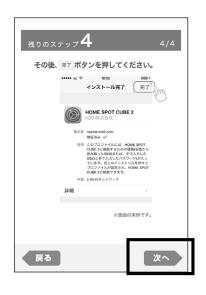
12 ［送信］をタップ

撮影した画像を取り直す場合は をタップし、もう一度撮影してください。

13 パスワードと枠内の文字列を一致させて［進む］をタップ

撮影したラベルのパスワードと下の枠内の文字列と比べて違う場合は該当箇所をタップして修正してください。

[次へ] をタップ

※残りのステップ1～4（手順⑭～⑰）の後にインストール画面へ切り替わります。

15 [次へ] をタップ

16 ［次へ］をタップ

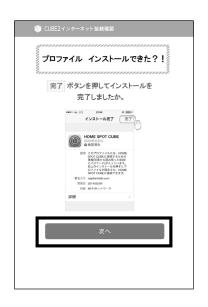
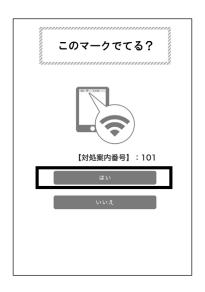
17 ［次へ］をタップ

18 ［インストール］をタップ

●パスコードの入力画面が表示される場合があります。
その場合には、パスコードを入力して下さい。

19 ［インストール］をタップ

20 ［完了］をタップ

21 インストールが完了したことを確認し［次へ］をタップ

22 Wi-Fiアイコン が出ていることを確認し［はい］をタップ

23 完了

以下の画面が表示され、iPhoneのステータスバーにWi-Fiアイコン が表示されていれば、Wi-Fi接続は完了です。

以上で接続は完了です。「3－2 インターネットにつながるかを確認する」(p.57)へお進みください。

ワンポイント

- 画面の内容は変更されることがありますが、画面の案内のとおりに操作いただければ設定できます。

3−2 インターネットにつながるかを確認する

スマートフォンのブラウザを起動し、インターネットに接続できることを確認してください。

Androidの場合

① ブラウザを起動する。
スマートフォンのブラウザアイコンをタップしてください。

② インターネットにつながることを確認する。

iPhoneの場合

① Safariを起動する。
② インターネットにつながることを確認する。

以上で完了です。

他のスマートフォンやパソコンを接続する

以下のau ホームページを合わせてご参照ください。
http://www.au.kddi.com/mobile/service/smartphone/wifi/homespot/

第 4 章　他のスマートフォンやパソコンを接続する.58

本製品はネットワーク接続方法や対応機種に応じて、「WPS接続」、「手動接続」および「有線接続」の3種類の接続方法があります。
以下の表をご覧になり、接続する機器に合わせて接続方法をお選びください。

接続方法	ネットワーク接続方法	対応機種	備考
WPS接続	無線	WPS機能を搭載したスマートフォンまたはパソコンなど	WPSに対応している機器を無線接続したいときに選択してください。
手動接続	無線	スマートフォンまたは無線LAN接続可能なパソコンなど	WPSに対応していない機器を無線接続したいときに選択してください。
有線接続	有線	パソコンなど	有線で接続したいときに選択してください。

WPSで接続する(WPSボタン方式) (p.60)

WPSで接続する(WPS PIN方式) (p.62)

手動で接続する (p.64)

有線で接続する (p.73)

4−1　WPSで接続する

4−1−1　WPSボタン方式

本製品本体のWPSボタンを使って、簡単に無線LAN設定を行うことができます。ただし、WPS機能を使って設定するためには、接続する機器（スマートフォンやパソコン）がWPSに対応している必要があります。
WPSに対応していないときは、「4−2 手動で接続する」（p.64）で設定してください。

ワンポイント

- WPS（Wi-Fi Protected Setup）とは、無線LAN関連の業界団体「Wi-Fi Alliance」が策定した無線LANの簡単設定規格です。WPS対応のルータ（親機）とスマートフォンなどの機器（子機）の接続設定や暗号化を簡単に行うことができる機能です。
- WPS設定により接続する機器は、「ネットワーク1）」（5GHz, WPA2）が接続対象です。（本製品の初期設定）
  （設定を変更することにより、「ネットワーク2）」（2.4GHz, WPA2）を接続対象にすることができます。）

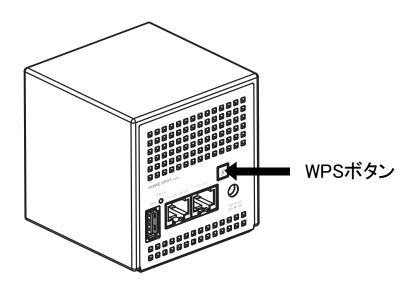
お読みください

- 設定を始める前に、あらかじめ以下を済ませてください。
・「第2章 準備する」（p.28）を済ませ、本製品をインターネットに接続できる状態にしてください。

1　WPS対応の無線LANアダプタを装着したパソコンまたはスマートフォンを用意し、電源を入れる

本製品とパソコン/スマートフォンなどの無線LAN機器の電源が入っていることを確認してください。

2 本製品背面のWPSボタンを長押しする

LEDランプ Aと Bが緑点滅(速)するまでWPSボタンを押し続けてください。LEDランプ Aと Bが緑点滅(速)したら、2分以内に手順❸を行ってください。

3 WPS対応のパソコンまたはスマートフォンのWPSボタンを押す

WPSボタンを押した後は、何も操作せずに30秒～1分ほどお待ちください。接続が完了すると、LEDランプ Aが緑点灯し、LEDランプ Bが緑点滅(遅)します。1分後に、LEDランプ Aと Bが緑点灯します。

※接続に失敗したときは、手順❶からやり直すか、「4－2 手動で接続する」(p.64)で接続してください。

ワンポイント

- WPSボタンの位置やボタンを押す時間の長さは、接続機器によって異なります。詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

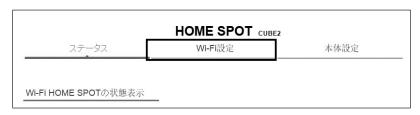
以上で接続は完了です。「4－4 インターネットにつながるかを確認する」(p.74)へお進みください。

4−1−2　WPS PIN方式

本製品のWPS PIN機能を使って、簡単に無線LAN設定を行うことができます。
ただし、WPS PIN機能を使って設定するためには、接続する機器（スマートフォンやパソコン）がWPS PINに対応している必要があります。
WPS PINに対応していないときは、「4−2 手動で接続する」（p.64）で設定してください。

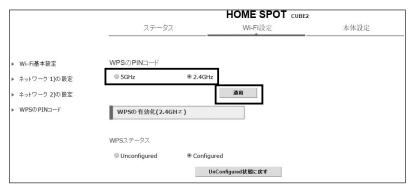
各設定項目の内容や設定値については、「6−3−3 WPS PIN コード」（p.128）をご覧ください。

1 「Wi-Fi設定」を選択する

本製品にログインし、「Wi-Fi設定」を選択して、「Wi-Fi設定」画面を表示してください。
ログインについては、「5−1 設定画面（Web UI）にログインする」（p.76）をご覧ください。

2 「WPSのPINコード」を選択する

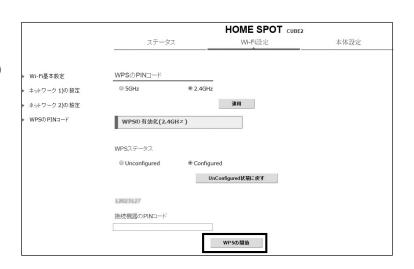
「WPSのPINコード」画面が表示されます。

HOME SPOT CUBE2
ステータス
Wi-Fi設定
本体設定
Wi-Fi基本設定
ネットワーク 1)の設定
ネットワーク 2)の設定
WPSのPINコード
WPSのPINコード
5GHz
2.4GHz
適用
WPSの有効化(2.4GHz)
WPSステータス
Unconfigured
Configured
UnConfigured状態に戻す

3 5GHzまたは2.4GHzのどちらかを選択し、[適用]をクリック(タップ)する

4 接続する無線LAN機器でPINコード発行を開始する

PINコードの発行方法については、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

5 手順4で発行したPINコードを、「接続機器のPINコード」に入力する

6 [WPSの開始]をクリック(タップ)する接続機器とのWPS接続が開始される

お使いの無線LAN機器で、インターネットの接続が可能かを確認してください。

お読みください

- 接続に失敗すると、LEDランプAが緑点滅（速）、LEDランプBが緑点灯になります。そのときは、LEDランプAの点滅が終わってから、再度手順4以降の操作を行ってください。

4−2　手動で接続する

お使いの機器によって以降の作業手順が異なります。お使いの機器に合わせてお進みください。

4−2−1 他のスマートフォン編 (p.65)

4−2−2 Windows 8/Windows 7/Windows Vista編 (p.66)

4−2−3 Mac OS X編 (p.70)

ワンポイント

- 本製品に初期設定されているネットワーク名とパスワードは、本製品底面のラベルを確認してください。

パスワード
XXXXXXXXXXXXX
ネットワーク　1）：auhome_bXXXXX_A
2）：auhome_bXXXXX
HOME SPOT CUBE2
製造番号：WECAA1234567　製造：15/02
商品コード：ECS31RWA　Made in China
W52/W53は屋内使用限定です　R 201-140466　T D 14 0148 201
輸入元：㈱エクセル
製造元：ASKEY COMPUTER CORP.
発売元：KDDI㈱・沖縄セルラー電話㈱
このシールをはがさないでください

※ ネットワーク名とパスワードに表記されている「x」の部分は、製品ごとに異なります。

ネットワーク	無線周波数	ネットワーク認証方式	接続機器
1) auhome_bXXXXX−A	5GHz	WPA2	スマートフォン、パソコン
2) auhome_bXXXXX	2.4GHz	WPA2	スマートフォン、パソコン、ゲーム機

お読みください

- お使いの機器が5GHzに対応していない場合は、ネットワーク1)「auhome_bXXXXX−A」は表示されません。
- ネットワーク名を変更したときは、本製品にログインして、ネットワーク名を確認してください。詳しくは、「6−2 ステータス」(p.121)をご覧ください。

4－2－1 他のスマートフォン編

※ Wi-Fi接続の設定をあらかじめ「ON（有効）」にしてください。詳しくは、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

1 無線LANの設定画面を表示する

無線LANの設定画面の表示方法は、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

2 本製品のネットワーク名をタップする

「auhome_bXXXXX-A」(5GHz用）または「auhome_bXXXXX」(2.4GHz用）を選び、タップしてください。

ワンポイント

- 本製品に初期設定されているネットワーク名とパスワードは、本製品底面のラベルを確認してください。

3 本製品のパスワードを入力する

4 接続状態になっているか確認する

以上で接続は完了です。「4－4 インターネットにつながるかを確認する」（p.74）へお進みください。

4−2−2 Windows 8/Windows 7/ Windows Vista編

※ 内蔵無線LANを有効にするための「ON/OFF」スイッチがパソコン本体に付いているときは、あらかじめ「ON」にしてください。
※ 本書で使用している画面はWindows 7の画面です。Windows 8/Windows Vistaをご使用の場合は、画面の表示が異なる場合があります。

1 画面左下の［スタート］をクリック(タップ)する

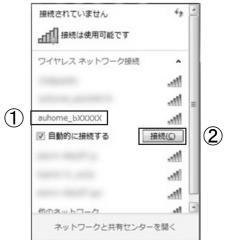
●Windows 8は画面右下の設定をクリックする

2 「コントロールパネル」をクリック(タップ)する

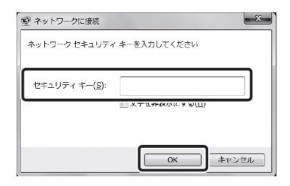
3 「ネットワークとインターネット」をクリック(タップ)する

4 「ネットワークに接続」をクリックする

5 本製品のネットワーク名に接続する

① 「auhome_bXXXXX-A」(5GHz用)または「auhome_bXXXXX」(2.4GHz用)を選択する
② [接続]をクリックする

ワンポイント

- 本製品に初期設定されているネットワーク名とパスワードは、本製品底面のラベルを確認してください。
- ネットワーク名が表示されないときは、以下の操作をしてください。
  - ・画面右上の[更新]をクリックして更新してください。
  - ・本製品の電源が入っているか、パソコンの無線LANがON になっているかを確認してください。
- PINコードを入力する画面が表示されたときは、「代わりに、ネットワークキーまたはパスフレーズを入力する必要があります」をクリックし、手順6へ進んでください。

6 本製品のセキュリティキー(パスワード)を入力し、［OK］または［接続］をクリックする

お読みください

- 「接続できませんでした」と表示されたときは、入力に誤りがあります。もう一度、手順①からやり直してください。

Windows Vistaをお使いのときは、設定を保存する画面が表示されます。［次へ］をクリックし、「インターネットに接続されています」と表示されていることを確認してください。

7 接続状態になっているかを確認する

Windows 7の場合

① 画面右下の をクリックする
② 「接続」と表示されていることを確認する

Windows 8の場合

① 画面右下の をクリックする
② 「接続」と表示されていることを確認する

Windows Vistaの場合

① [スタート]をクリックし、「接続先」をクリックする
② 「接続」と表示されている事を確認する

お読みください

- 「制限付きアクセス」などと表示されたときは、2〜3分ほどお待ちいただいてから、「接続」と表示されているかを確認してください。
- ウイルス対策ソフトのメッセージ画面が表示されたときは、アクセスを許可してください。

8 「ネットワークの場所の設定」画面が表示されたときは、任意の場所を選択する

以上で接続は完了です。「4ー4 インターネットにつながるかを確認する」(p.74)へお進みください。

4−2−3 Mac OS X編

※ 本書で使用している画面はMac OS X 10.9.5 の画面です。表示される画面はMac OSのバージョンによって異なります。

「Wi-Fi」を「入」にする

① 画面右上のメニューバーの「 」をクリックする
② 「Wi-Fiを入にする」をクリックする
※ 「Wi-Fi : 切」と表示されているときは、手順❶をとばして手順❷へ進んでください。

ワンポイント

● メニューバーに「 」が表示されていないときは、以下の手順で表示を有効にし、もう一度手順 ❶ からやり直してください。
① 画面左上のアップルメニュー をクリックする
② 「システム環境設定」をクリックする
③ 「ネットワーク」をクリックする
④ ネットワーク画面左の「Wi-Fi」をクリックする
⑤ ネットワーク画面内の「メニューバーにWi-Fiの状況を表示」のチェックをオンにする

⑥ 画面を閉じる

2 本製品のネットワーク名に接続する

① 画面右上のメニューバーの「 」をクリックする
② 「auhome_bXXXXX-A」(5GHz用)または「auhome_bXXXXX」(2.4GHz用)を選択する

ワンポイント

- 本製品に初期設定されているネットワーク名とパスワードは、本製品底面のラベルを確認してください。
- ネットワーク名が表示されないときは、もう一度メニューバーの「 」をクリックしてください。

3 本製品のパスワード(暗号化キー)を入力する

お読みください

- 「接続で問題がありました」と表示されたときは、入力に誤りがあります。[OK]をクリックし、もう一度手順 1 からやり直してください。

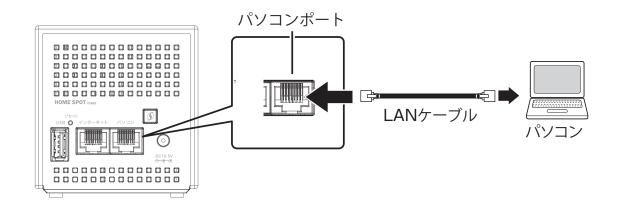
4 接続状態になっているか確認する

① 画面右上のメニューバーの「 」をクリックする
② 本製品のネットワーク名にチェックマークがついているか確認する

以上で接続は完了です。「4－4 インターネットにつながるかを確認する」(p.74)へお進みください。

4－3 有線で接続する

1 本製品のパソコンポートと、パソコンのLANポートをLANケーブルで接続する

※ 本製品のパソコンポートに貼ってある誤挿入防止シールをはがしてから行ってください。
※ LANケーブルは別途用意してください。

2 パソコンの電源を入れる

お読みください

● パソコンのネットワーク設定を、Windowsの場合は「IPアドレスを自動取得する」に、Mac OSの場合は「DHCPサーバを参照」にする必要があります。上記設定以外のときは、「7－1 パソコンの設定について」(p.139)をご覧になり、パソコンの設定を変更してください。

以上で接続は完了です。「4－4 インターネットにつながるかを確認する」(p.74)へお進みください。

4−4 インターネットにつながるかを確認する

インターネットにつなぎ、ネットワーク接続を確認します。

1 ブラウザを起動する

ブラウザを起動してください。

2 URL入力欄に「http://au.kddi.com/」と入力して、インターネットにつながることを確認する

こんなときには

以下に該当するお客様は…

- 本製品のLEDランプAが緑点灯、LEDランプCが赤点灯し、インターネットにつながらない。
- 本製品のLEDランプAが緑点灯、LEDランプBが緑点滅し、インターネットにつながらない。
- 本製品のLEDランプAが赤点滅し、インターネットにつながらない。
- 本製品を接続する前の環境で、パソコンからPPPoE接続ツールを使ってダイヤルアップの操作をし、インターネット接続していた。

「5−7−2 PPPoE接続に変更する」(p.95)をご覧ください。

使いこなす

5—1 設定画面(Web UI)にログインする

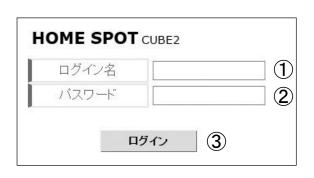
スマートフォンやパソコンでログインする

※ 画面はWindows 7でログインするときの画像を記載しております。

1 スマートフォンやパソコンの電源を入れ、本製品と接続し、ブラウザを起動する

2 ブラウザのURL入力欄に「http://au1234/」を入力する。

3 本製品の設定画面にログインする

① 「ログイン名」に「au」を半角英字で入力する
② 「パスワード」に本製品本体底に記載されているパスワードを入力する
③[ログイン]をクリック(タップ)する

ワンポイント

● ログインするときの「パスワード」は変更することができます。詳しくは、「5—6 本製品のログインパスワードを変更する」(p.90)をご覧ください。

ログインに成功すると、設定画面のステータスページが表示されます。

HOME SPOT CUBE2

ステータス　Wi-Fi設定　本体設定

▸ ステータス

Wi-Fi HOME SPOTの状態表示

システム情報

時刻

ファームウェアバージョン

ファームウェア更新日付

動作モード

※設定画面にログインできないときは、「こんなときには」(p.78)をご覧ください。
設定画面の詳しい内容については、「第6章 詳細設定(メニューリスト)」(p.119)をご覧ください。

こんなときには

設定画面にログインできない

設定画面にログインできないときは、以下の方法を試してください。

※以下の操作は本製品と接続した端末で行ってください。

① コンセントからACアダプタを抜いて本製品の電源を切る
② 本製品背面のインターネットポートから付属のLANケーブルを抜く
③ ACアダプタをコンセントに接続して本製品の電源を入れる
④ Wi-Fiを再接続する
⑤ ブラウザのURL入力欄にIPアドレス「192.168.254.1」を入力してログインする

※ 設定画面での設定が完了したら、本製品の電源を切ってからインターネットポートに付属のLANケーブルを接続し、本製品の電源を入れてください。

5－2　動作モードを切り替える

お使いの通信機器に合わせて「ルータモード」「APモード」のいずれかを選択してください。

本製品は出荷時に「ルータモード」に設定されています。
「APモード」への切り替えについては「5－14　APモードの設定」(p.117)をご覧ください。

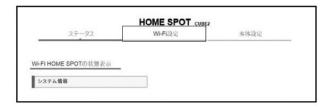
5−3 Wi-Fi基本設定を変更する

本製品は、無線の混信を防ぐため、5GHzと2.4GHzの無線LANチャンネルをそれぞれ個別に設定できます。

周波数	チャンネル	規格
5GHz	36/40/44/48/52/56/60/64/100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch、Auto	IEEE802.11a/n/ac 準拠
2.4GHz	1〜13ch、Auto ※ Autoを選択した場合は、1〜11chのいずれかが設定されます。	IEEE802.11b/g/n 準拠

各設定項目の内容や設定値については、「6−3−1 Wi-Fi基本設定」(p.123)をご覧ください。

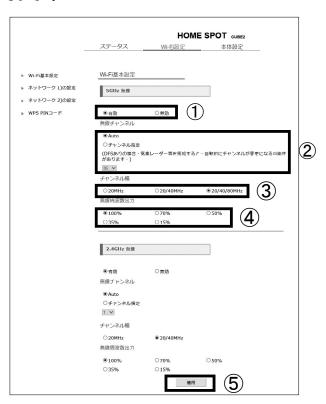
1 「Wi-Fi設定」を選択する

本製品にログインし、「Wi-Fi設定」を選択して、「Wi-Fi設定」画面を表示してください。
ログインについては、「5−1 設定画面(Web UI)にログインする」(p.76)をご覧ください。

2 「Wi-Fi基本設定」を選択する

「Wi-Fi基本設定」画面が表示されます。

3 「Wi-Fi基本設定」を変更する

① 5GHzまたは2.4GHzの周波数で「有効」が選択されていることを確認する。
「無効」が選択されているときは、「有効」に変更してください。

② チャンネル番号を設定する
無線チャンネルの「Auto」または「チャンネル指定」を選択してください。「Auto」を選択したときは、チャンネル番号が自動で設定されます。5GHz周波数の「チャンネル指定」を選択したときは、指定するチャンネル番号を「36」、「40」、「44」、「48」、「52」、「56」、「60」、「64」、「100」、「104」、「108」、「112」、「116」、「120」、「124」、「128」、「132」、「136」、「140」から選択してください。2.4GHz周波数の「チャンネル指定」を選択したときは、指定するチャンネル番号を「1」～「13」から選択してください。

ワンポイント

- 同一のネットワーク名(SSID)内で無線通信するには、チャンネル番号を同じにする必要があります。特に指定しない場合は、「Auto」を選択することをおすすめします。
また、チャンネル番号が近い数字のときは、電波が干渉する場合があります。なるべく数字の離れたチャンネル番号を指定してください。
- 5GHzでW53,W56のチャンネルをチャンネル指定で選択した場合、DFS機能により、選択したチャンネルとは異なるチャンネルが設定されることがあります。また、その際設定されたチャンネルはステータス画面で確認できます。

③ 「チャンネル幅」で「20MHz」、「20/40MHz」または、「20/40/80MHz」を選択する。数値が大きいほど通信速度が向上します。

④ 「無線周波数出力」で「100%」、「70%」、「50%」、「35%」、「15%」のいずれかを選択する。
数値が大きいほど無線電波が遠くに届きます。通常は「100%」を選択してください。集合住宅などで、無線電波を遠くに飛ばしたくないときは、小さな数値を選択してください。

⑤ ［適用］をクリック（タップ）する
設定が保存され、設定完了のメッセージが表示されます。

お読みください

- ［適用］をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック（タップ）してください。

5－4 Wi-Fiの設定を変更する

5－4－1 ネットワーク名を変更する

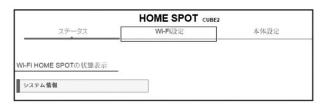
「ネットワーク名」を初期名称から変更します。
以下は初期設定されているネットワーク名（SSID)の一覧です。

ネットワーク番号	無線周波数	ネットワーク名（SSID）	接続機器
ネットワーク1）	5GHz	auhome_bXXXXX-A※	スマートフォン、パソコン
ネットワーク2）	2.4GHz	auhome_bXXXXX※	スマートフォン、パソコン、ゲーム機

※「XXXXX」の部分は製品ごとに異なります。本製品底面のラベルをご覧ください。

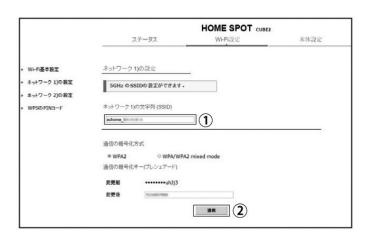
各設定項目の内容や設定値については、「6－3－2 ネットワーク1)/ネットワーク2)の設定」（p.126)をご覧ください。

1 「Wi-Fi設定」を選択する

本製品の設定画面（Web UI）にログインし、「Wi-Fi設定」を選択して、「Wi-Fi設定」画面を表示してください。ログインについては、「5－1 設定画面（Web UI）にログインする」（p.76）をご覧ください

2 「ネットワーク1)の設定」、「ネットワーク2)の設定」のいずれかを選択する

ネットワーク名を変更したいネットワークを選択して、「ネットワーク設定」画面を表示してください。

ネットワーク名を変更する

①「ネットワーク※の文字列」に変更したいネットワーク名を入力する
（※は選択したネットワークの番号）
最大32文字の半角英数字でネットワーク名を入力してください。
② [適用]をクリック(タップ)する
設定が保存され、設定完了のメッセージが表示されます。

ワンポイント

● ネットワーク名は1～32文字の半角数字と「a」～「z」、「A」～「Z」の半角英字、および下記の記号の文字列で設定できます。
! ″ # $ % & ’ ( ) ＊ + , − . ／ : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

お読みください

● [適用]をクリック(タップ)しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず[適用]をクリック(タップ)してください。
● ネットワークを変更する前に、本製品に接続している機器があるときは、接続し直してください。

5－4－2 暗号化を変更する

本製品は、無線通信の暗号化をSSIDごとに「WPA2」または「WPA/WPA2 mixed mode」のいずれかで設定することができます。

項目名	内容
WPA2/ WPA/WPA2 mixed mode	「プレシェアードキー」を使用して、無線通信を暗号化します。

各設定項目の内容や設定値については、「6－3－2ネットワーク1)/ネットワーク2)の設定」(p.126)をご覧ください。

ワンポイント

- WPAおよびWPA2とは、WEPをより強化した無線LANのセキュリティ規格です。WPA/WPA2では、「プレシェアードキー」と呼ばれる暗号化キーを用い、WEPと同様にアクセスポイントとクライアントに共通の暗号化キーを設定します。WPA2は「AES」が標準化された、WPAよりもさらに強固なセキュリティです。

お読みください

- 本製品の初期状態で、すでに無線LAN接続している機器があるときは、変更した内容で再接続してください。

1 「Wi-Fi設定」を選択する

本製品にログインし、「Wi-Fi設定」を選択して、「Wi-Fi設定」画面を表示してください。
ログインについては、「5ー1 設定画面(Web UI)にログインする」(p.76)をご覧ください。

HOME SPOT CUBE2
ステータス
Wi-Fi設定
本体設定
Wi-Fi HOME SPOTの状態表示

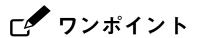
2 「ネットワーク1)の設定」、「ネットワーク2)の設定」のいずれかを選択する

暗号化方式を設定したいネットワークを選択して、「ネットワーク設定」画面を表示してください。

3 「通信の暗号化方式」を設定する

HOME SPOT CUBE2
ステータス　Wi-Fi設定　本体設定
▸ Wi-Fi基本設定
▸ ネットワーク 1)の設定
▸ ネットワーク 2)の設定
▸ WPSのPINコード
ネットワーク 1)の設定
5GHz のSSIDの設定ができます。
ネットワーク 1)の文字列 (SSID)
auhome_bXXXXX-A
通信の暗号化方式
WPA2　WPA/WPA2 mixed mode ①
通信の暗号化キー(プレシェアード)
変更前
変更後 ②
適用 ③

①「通信の暗号化方式」を「WPA2」または「WPA/WPA2 mixed mode」にする
② 必要に応じて「通信の暗号化キー（プレシェアード）」を変更する

ワンポイント

- 暗号化キーは8～64文字の16進数、または8～63文字の半角数字と「a」～「z」、「A」～「Z」の半角英字、および下記の記号の文字列で設定できます。
  ! ” # $ % & ’ ( ) * + , − . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ˜

③ [適用]をクリック(タップ)する。
設定が保存され、設定完了のメッセージが表示されます。

お読みください

- [適用]をクリック(タップ)しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず[適用]をクリック(タップ)してください。

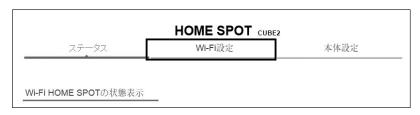
以上で設定は完了です。

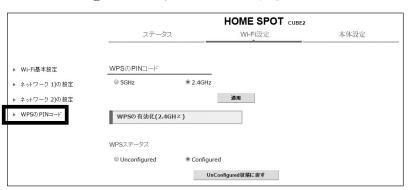
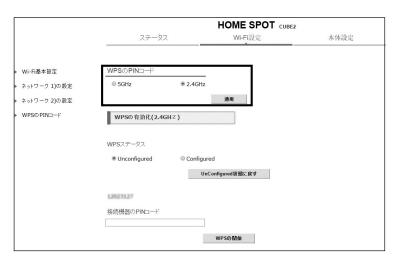
5−5 WPS PINコードの接続先の変更

PINコード方式でWPS接続先を変更します。

各設定項目の内容や設定値については、「6−3−3 WPS PIN コード」(p.128)をご覧ください。

1 「Wi-Fi設定」を選択する

本製品にログインし、「Wi-Fi設定」を選択して、「Wi-Fi設定」画面を表示してください。
ログインについては、「5−1 設定画面(Web UI)にログインする」(p.76)をご覧ください。

2 「WPSのPINコード」を選択する

「WPSのPINコード」画面が表示されます。

5GHzまたは2.4GHzのどちらかを選択し、[適用]をクリック(タップ)する

※ お使いの無線LAN機器が対応している周波数を選択してください。

お使いの無線LAN機器で、インターネットの接続が可能かを確認してください。

5ー6 本製品のログインパスワードを変更する

本製品にログインするためのパスワードを変更できます。

1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
ログインについては、「5ー1 設定画面(Web UI)にログインする」(p.76)をご覧ください。

2 「ユーザー設定」を選択する

「ユーザー設定」画面が表示されます。

ワンポイント

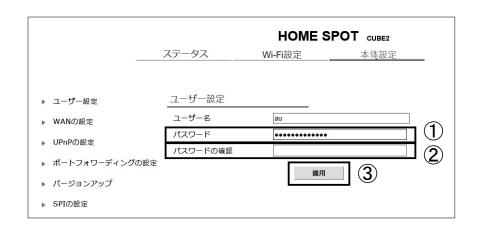
- スマートフォンからログインするときの「ログイン名」と、パソコンからログインするときの「ユーザー名」は同一です。

3 ログインパスワードを変更する

① 「パスワード」に変更したいパスワードを入力する

ワンポイント

● パスワードは半角英数字で、最大20文字まで設定できます。

② 「パスワードの確認」に手順①で入力したパスワードを入力する
③ [適用]をクリック(タップ)する
設定が保存され、設定画面のログイン画面が表示されます。

お読みください

● [適用]をクリック(タップ)しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず[適用]をクリック(タップ)してください。
● 変更したパスワードは忘れないようにメモしてください。万が一、忘れてしまった場合は、本製品を初期化してください。詳しくは、「7－3 本製品を初期化するには」(p. 152)をご覧ください。

5ー7 WANの接続を変更する

「WANの設定」画面でWANの接続の種類を「DHCP接続（通常接続）」、「PPPoE接続」、「固定IP接続」のいずれかに変更できます。

各設定項目の内容や設定値については、「6ー4ー2 WANの設定」(p.130)をご覧ください。

5−7−1 DHCP接続(通常接続)に変更する

インターネットプロバイダのDHCP サーバから供給されるIPアドレスを使用してインターネットに接続します。

1 「本体設定」を選択する

本製品の設定画面(Web UI)にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
ログインについては、「5−1 設定画面(Web UI)にログインする」(p.76)をご覧ください。

2 「WANの設定」を選択する

「WANの設定」画面が表示されます。

HOME SPOT CUBE2
ステータス
Wi-Fi設定
本体設定
ユーザー設定
WANの設定
UPnPの設定
ポートフォワーディングの設定
バージョンアップ
SPIの設定
パススルーの設定
再起動
本体時刻設定
初期化
WANの設定
WANの接続の種類
DHCP
PPPoE
固定IP
MTU値
1492
(1400-1492 bytes)
DNS自動接続
DNS手動設定
プライマリDNSアドレス

3 WANの設定をする

① 「WANの接続の種類」で「DHCP」を選択する
「DHCP」の設定画面が表示されます。
② [適用]をクリック(タップ)する
設定が保存され、設定完了のメッセージが表示されます。

ワンポイント

● 「MTU値」、「DNS自動接続」/「DNS手動設定」、「プライマリDNSアドレス」/「セカンダリDNSアドレス」/「WAN MACアドレスの設定」について詳しくは、「6ー4ー2 WANの設定」(p.130)をご覧ください。

お読みください

● [適用]をクリック(タップ)しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず[適用]をクリック(タップ)してください。

以上で設定は完了です。

5－7－2 PPPoE接続に変更する

プロバイダの情報を登録し、インターネットに接続します。

1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
ログインについては、「5－1設定画面（Web UI）にログインする」（p.76）をご覧ください。

2 「WANの設定」を選択する

「WANの設定」画面が表示されます。

HOME SPOT CUBE2
ステータス
Wi-Fi設定
本体設定
ユーザー設定
WANの設定
UPnPの設定
ポートフォワーディングの設定
バージョンアップ
SPIの設定
パススルーの設定
再起動
本体時刻設定
初期化
お子様の利用制限
APモードの設定
WANの設定
WANの接続の種類
DHCP
PPPoE
固定IP
MTU値
1492
(1400-1492 bytes)
DNS自動接続
DNS手動設定
プライマリDNSアドレス
セカンダリDNSアドレス
WAN MACアドレスの設定
B4
EE
B4
3A
12
52
適用

3 「WANの接続の種類」で「PPPoE」を選択する

「PPPoE」の設定画面が表示されます。

HOME SPOT CUBE2
ステータス　Wi-Fi設定　本体設定
▸ ユーザー設定
▸ WANの設定
▸ UPnPの設定
▸ ポートフォワーディングの設定
▸ バージョンアップ
WANの設定
WANの接続の種類
○DHCP　◉PPPoE　○固定IP

4 WANの設定をする

① プロバイダ指定の「ユーザー名」と「パスワード」を入力する

② ［適用］をクリック(タップ)する

設定が保存され、設定完了のメッセージが表示されます

ワンポイント

● 「MTU値」、「常時接続」/「手動接続」、「DNS自動接続」/「DNS手動設定」、「プライマリDNSアドレス」/「セカンダリDNSアドレス」/「WAN MACアドレスの設定」について詳しくは、「6－4－2 WANの設定」(p.130)をご覧ください。

お読みください

● ［適用］をクリック(タップ)しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック(タップ)してください。

以上で設定は完了です。

5−7−3 固定IP接続に変更する

プロバイダや上位のルータから割り当てられた情報を登録して、インターネットに接続します。

1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
ログインについては、「5−1 設定画面(Web UI)にログインする」(p.76)をご覧ください。

HOME SPOT CUBE2
ステータス Wi-Fi設定 本体設定
Wi-Fi HOME SPOTの状態表示

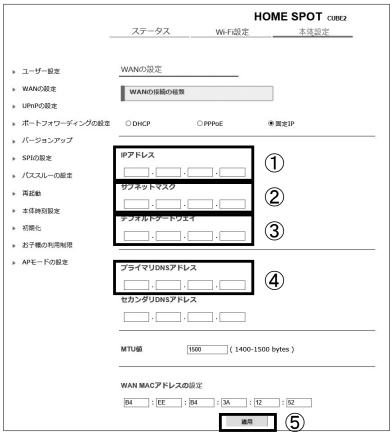
2 「WANの設定」を選択する

「WANの設定」画面が表示されます。

3 「WANの接続の種類」で「固定IP」を選択する

「固定IP」の設定画面が表示されます。

WANの設定をする

① プロバイダや上位のルータから割り当てられた「IP アドレス」を入力する
② プロバイダや上位のルータから割り当てられた「サブネットマスク」を入力する
③ プロバイダや上位のルータから割り当てられた「デフォルトゲートウェイ」のIPアドレスを入力する
④ プロバイダや上位のルータから割り当てられた「プライマリDNSアドレス」のIPアドレスを入力する
⑤ [適用]をクリック(タップ)する
設定が保存され、設定完了のメッセージが表示されます

ワンポイント

● 「セカンダリDNSアドレス」、「MTU値」、「WAN MACアドレスの設定」について詳しくは、「6−4−2 WANの設定」(p.130)をご覧ください。

お読みください

● [適用]をクリック(タップ)しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず[適用]をクリック(タップ)してください。

以上で設定は完了です。

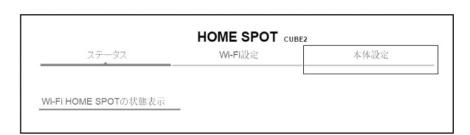
5−8 パケット転送機能を使用する

5−8−1 UPnPを使用する

本製品をルータモードで使用しているときに、本製品に接続している様々な機器同士を同一ネットワーク上で利用することができます。
接続機器がUPnPに対応している必要があります。

各設定項目の内容や設定値については、「6−4−3 UPnPの設定」(p.132)をご覧ください。

1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
ログインについては、「5−1 設定画面(Web UI)にログインする」(p.76)をご覧ください。

2 「UPnPの設定」を選択する

「UPnPの設定」画面が表示されます。

3 UPnPを使用する

①「UPnPを使った通信ポートの自動設定」を「有効」にする
②[適用]をクリック(タップ)すると設定が保存され、
設定完了のメッセージが表示されます。

お読みください

● [適用]をクリック(タップ)しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず[適用]をクリック(タップ)してください。

5−8−2 ポートフォワーディングを使用する

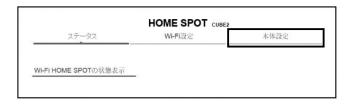
特定のポートに対して外部（インターネット）からアクセスがあったときに、本製品のLAN側にある機器に通信を転送します。
パソコンなどをサーバとして公開したり、ネットワークカメラを利用するときに設定します。
最大で20個まで設定できます。

各設定項目の内容や設定値については、「6−4−4 ポートフォワーディングの設定」(p.132)をご覧ください。

ワンポイント

● ポートフォワーディングでは、指定した IP アドレスにパケットを転送します。指定するネットワーク機器のIPアドレスは、固定に設定してください。

1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
ログインについては、「5−1 設定画面（Web UI)にログインする」（p.76）をご覧ください。

2 「ポートフォワーディングの設定」を選択する

「ポートフォワーディングの設定」画面が表示されます。

3 ポートフォワーディングを使用する

HOME SPOT CUBE2

ステータス　Wi-Fi設定　本体設定

- ユーザー設定
- WANの設定
- UPnPの設定
- ポートフォワーディングの設定
- バージョンアップ
- SPIの設定
- パススルーの設定
- 再起動
- 本体時刻設定
- 初期化
- お子様の利用制限
- APモードの設定

ポートフォワーディングの設定

手動でポートフォワーディングする機能

○有効　◉無効　①

転送先LAN側IPアドレス

. . .　②

WAN側からLAN側へ転送するポート範囲

~　③

転送の対象とするプロトコル

◉TCP　○UDP　○TCP/UDP　④

適用　⑤

登録済み情報

IPアドレス	プロトコル	ポート範囲	選択

削除

①「手動でポートフォワーディングする機能」を「有効」にする

②「転送先LAN側IPアドレス」に送信したいネットワーク機器のIPアドレスを入力する

③「WAN側からLAN側へ転送するポート範囲」に開放するポート番号を入力する

④「転送の対象とするプロトコル」を、「TCP」、「UDP」または「TCP/UDP」のいずれかから選択する

TCP　　　：TCPデータのみ通信を許可します。
UDP　　　：UDPデータのみ通信を許可します。
TCP/UDP：TCPとUDPデータ、両方の通信を許可します。

⑤[適用]をクリック(タップ)すると「登録済み情報」に入力したポートフォワーディング情報が登録されます。

お読みください

- [適用]をクリック(タップ)しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず[適用]をクリック(タップ)してください。

5－8－3 SPIを使用する

SPIを有効にすると、送信したパケットの情報を元に、戻りのパケットに対して整合性の判断を行い、不正なパケットを破棄します。初期設定は「有効」に設定されています。

※本機能は「ルータモード」でのみ動作します。

各設定項目の内容や設定値については、「6－4－6 SPIの設定」(p.133)をご覧ください。

1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
ログインについては、「5－1 設定画面(Web UI)にログインする」(p.76)をご覧ください。

2 「SPIの設定」を選択する

「SPIの設定」画面が表示されます。

SPIを使用する

① [有効]を選択
② [適用]をクリック(タップ)する
設定が保存され、設定完了のメッセージが表示されます。

お読みください

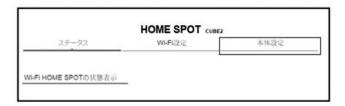
- [適用]をクリック(タップ)しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず[適用]をクリック(タップ)してください。

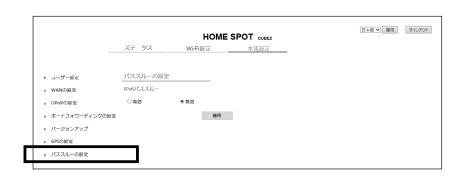
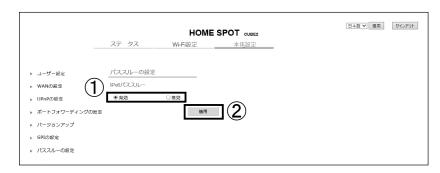
5−8−4 パススルーを使用する

プロトコルやIPアドレスの変換を行わずに、パケットを通過させることができます。

各設定項目の内容や設定値については、「6－4－7 パススルーの設定」(p.134)をご覧ください。

1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
ログインについては、「5−1 設定画面(Web UI)にログインする」(p.76)をご覧ください。

2 「パススルーの設定」を選択する

「パススルーの設定」画面が表示されます。

パススルーを使用する

① パススルーしたいプロトコルを「有効」にする
「有効」にしたプロトコルの通信がパススルー処理されます。

IPv6パススルー	IPv6プロトコルの利用が必要なサービスをご契約の場合は、IPv6パススルー機能を使用して、IPv6による通信を行うことができます。

② [適用]をクリック(タップ)する
設定が保存され、設定完了のメッセージが表示されます。

お読みください

● [適用]をクリック(タップ)しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず[適用]をクリック(タップ)してください。

5－9　本製品のソフトウェアをバージョンアップする

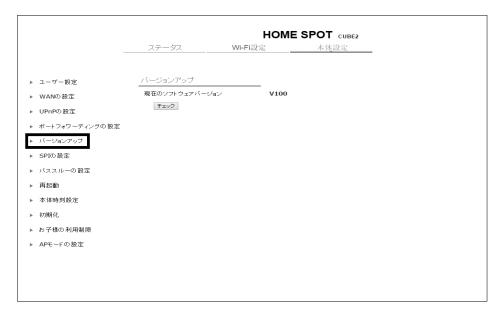
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。
- ソフトウェア更新に失敗したときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。

各設定項目の内容や設定値については、「6－4－5 バージョンアップ」(p.133)をご覧ください。

1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
ログインについては、「5－1 設定画面(Web UI)にログインする」(p.76)をご覧ください。

2 「バージョンアップ」を選択する

「バージョンアップ」画面が表示されます。

ソフトウェアをバージョンアップする

HOME SPOT CUBE2
ステータス　Wi-Fi設定　本体設定
ユーザー設定
WANの設定
UPnPの設定
ポートフォワーディングの設定
バージョンアップ
現在のソフトウェアバージョン
チェック

● [チェック]をクリック(タップ)する
バージョンアップ確認画面が表示されたら、「OK」をクリック(タップ)してください。ソフトウェアのダウンロードを開始します。ダウンロードが完了すると、そのままソフトウェアを自動でバージョンアップします。

ソフトウェアのバージョンアップ中は、絶対に電源を切らないでください。本製品が使用できなくなるおそれがあります。

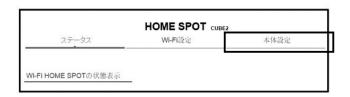
ワンポイント

● ソフトウェアのバージョンアップを中止したいときは、「キャンセル」をクリック(タップ)してください。
● ソフトウェアのバージョンアップに失敗すると、「ソフトウェアの更新に失敗しました」というメッセージが表示されます。そのときは、[画面]をクリック(タップ)して、再度、手順 3 から実行してください。
● 更新が必要なソフトウェアがないときは、「新しいソフトウェアはありません。」と表示されます。

5―10 本製品を再起動する

各設定項目の内容や設定値については、「6―4―8 再起動」(p.134)をご覧ください。

1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
ログインについては、「5―1 設定画面(Web UI)にログインする」(p.76)をご覧ください。

2 「再起動」を選択する

「再起動」画面が表示されます。

HOME SPOT CUBE2
ステータス
Wi-Fi設定
本体設定
ユーザー設定
WANの設定
UPnPの設定
ポートフォワーディングの設定
バージョンアップ
SPIの設定
パススルーの設定
再起動
再起動
再起動

［再起動］をクリック(タップ)する

本製品を再起動します。

ワンポイント

● 本製品には電源ボタンがありません。設定画面（Web UI）以外から再起動したいときは、ACアダプタを抜いて電源を切ってから、再度ACアダプタを接続して電源を入れてください。

5−11 本製品の時刻を変更する

本製品の時刻を設定します。
インターネット接続時にネットワーク上の時刻サーバと同期して時刻を取得することにより、正確な時間に設定されます。

各設定項目の内容や設定値については、「6−4−9 本体時刻設定」(p.135)をご覧ください。

1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
ログインについては、「5−1 設定画面(Web UI)にログインする」(p.76)をご覧ください。

2 「本体時刻設定」を選択する

「本体時刻設定」画面が表示されます。

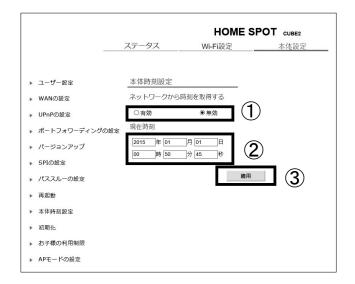
3 本製品の時刻を変更する

ネットワークによる自動調整で時刻を変更するには

①「ネットワークから時刻を取得する」で「有効」を択する
②［適用］をクリック（タップ）する

HOME SPOT CUBE2
ステータス　Wi-Fi設定　本体設定
ユーザー設定
WANの設定
UPnPの設定
ポートフォワーディングの設定
バージョンアップ
SPIの設定
パススルーの設定
再起動
本体時刻設定
初期化
お子様の利用制限
APモードの設定
本体時刻設定
ネットワークから時刻を取得する
有効　無効　①
現在時刻
2015 年 01 月 01 日
00 時 50 分 45 秒
適用　②

手動で時間を変更するには

①「ネットワークから時刻を取得する」で「無効」を選択する
②「現在時刻」に現在の時刻を入力する
③［適用］をクリック（タップ）する

お読みください

● ［適用］をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック（タップ）してください。

5－12 初期化

本製品を初期化します。

各設定項目の内容や設定値については、「6－4－10 初期化」（p.135)をご覧ください。

1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
ログインについては、「5－1 設定画面（Web UI)にログインする」(p.76)をご覧ください。

2 「初期化」を選択する

「初期化」画面が表示されます。

HOME SPOT CUBE2
ステータス
Wi-Fi設定
本体設定
ユーザー設定
WANの設定
UPnPの設定
ポートフォワーディングの設定
バージョンアップ
SPIの設定
パススルーの設定
再起動
本体時刻設定
初期化
お子様の利用制限
APモードの設定
初期化
工場出荷時の構成に復元する
初期化

［初期化］をクリック(タップ)する

本製品を初期化します。

HOME SPOT CUBE2
ステータス　Wi-Fi設定　本体設定

▸ ユーザー設定
▸ WANの設定
▸ UPnPの設定
▸ ポートフォワーディングの設定
▸ バージョンアップ
▸ SPIの設定
▸ パススルーの設定
▸ 再起動
▸ 本体時刻設定
▸ 初期化
▸ お子様の利用制限
▸ APモードの設定

初期化
工場出荷時の構成に復元する
初期化

ワンポイント

- 初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。
  初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。
- 本製品背面のリセットボタンを押すことにより初期化することもできます。
  詳しくは、「7－3 本製品を初期化するには」(p.152)をご覧ください。

5－13 お子様の利用制限

MACアドレスを登録した機器のみ本製品へのアクセスを許可し、登録の無い機器はアクセスを禁止します。最大で20個まで設定できます。

※ 本機能を有効にするときは、はじめに本製品に接続している無線LAN機器のMACアドレスを登録してください。

※ 本機能を有効にすると、「WPS接続」は使用できません。

※ 有線LAN接続機器は、本機能の対象外です。

各設定項目の内容や設定値については、「6－4－11 お子様の利用制限」(p.136)をご覧ください。

1 「本体設定」を選択する

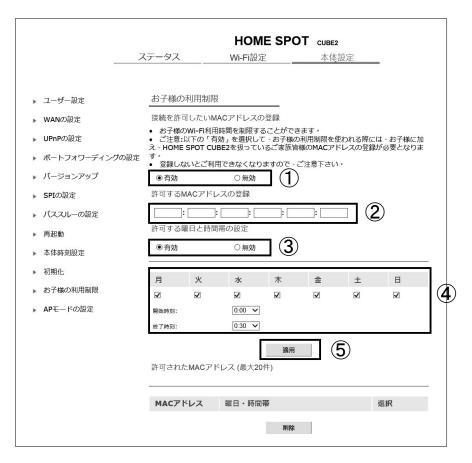
本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。

ログインについては、「5－1 設定画面(Web UI)にログインする」(p.76)をご覧ください。

HOME SPOT CUBE2
ステータス
Wi-Fi設定
本体設定
Wi-Fi HOME SPOTの状態表示

2 「お子様の利用制限」を選択する

「お子様の利用制限」画面が表示されます。

3 お子様の利用制限を利用する

① 「有効」を選択する
② アクセスを許可する機器のMACアドレスを入力する
③ 「有効」※を選択する
　※接続を許可する曜日と時間を指定する場合に選択してください。
④ 設定を有効にしたい 「曜日」と「時間帯」を選択する
⑤ ［適用］をクリック(タップ)すると、設定が保存されます。

お読みください

- ［適用］をクリック(タップ)しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック(タップ)してください。
- お子様の利用制限機能で、日付をまたいだ設定はできません。

ワンポイント

- MACアドレスを更に登録するときは、［適用］をクリック（タップ）した後に、手順3を繰り返してください。
- 登録したMACアドレスを削除したいときは、削除したいMACアドレスの［選択］にチェックを入れ、［削除］をクリック(タップ)してください。登録したMACアドレスが削除されます。

5－14 APモードの設定

APモードへ切り替えます。

各設定項目の内容や設定値については、「6－4－12 APモードの設定」(p.137)をご覧ください。

1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
ログインについては、「5－1 設定画面(Web UI)にログインする」(p.76)をご覧ください。

2 「APモードの設定」を選択する

「APモードの設定」画面が表示されます。

APモードを利用する

① 「APモードを利用する 」を選択する
② [適用]をクリック(タップ)する

お読みください

● ［適用］をクリック(タップ)しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック(タップ)してください。
● APモードに設定しても、本製品をインターネットに接続して、グローバルIPアドレスを使用している場合には、自動的にルータモードで動作します。

詳細設定(メニューリスト)

6－1 メニューリスト

トップメニュー名	サイドメニュー名	記載ページ
ステータス		p.121
Wi-Fi設定	Wi-Fi基本設定	p.123
	ネットワーク1)/ネットワーク2)の設定	p.126
	WPS PINコード	p.128
本体設定	ユーザー設定	p.129
	WANの設定	p.130
	UPnPの設定	p.132
	ポートフォワーディングの設定	p.132
	バージョンアップ	p.133
	SPIの設定	p.133
	パススルーの設定	p.134
	再起動	p.134
	本体時刻設定	p.135
	初期化	p.135
	お子様の利用制限	p.136
	APモードの設定	p.137

6−2 ステータス

本製品の設定状態が表示されます。

設定機能名	設定項目	内容
システム情報	時刻	現在の日時が表示されます。
	ソフトウェアバージョン	ソフトウェアのバージョンが表示されます。
	ソフトウェア更新日付	ソフトウェアの作成日が表示されます。
	動作モード	動作モードが表示されます。
ネットワーク1)設定情報	周波数	ネットワーク1)で使用している周波数が表示されます。
	無線モード	ネットワーク1)で使用している無線モードが表示されます。
	SSID	ネットワーク1)のSSID（ネットワーク名）が表示されます。
	無線チャンネル	ネットワーク1)で使用している無線チャンネル番号が表示されます。
	暗号化方式	ネットワーク1)で使用している暗号化方式が表示されます。
	接続中の機器数	ネットワーク1)に接続している無線機器の数が表示されます。
	BSSID	ネットワーク1)のBSSIDが表示されます。
	MACアドレス	ネットワーク1)で使用しているMACアドレスが表示されます。
ネットワーク2)設定情報	周波数	ネットワーク2)で使用している周波数が表示されます。
	無線モード	ネットワーク2)で使用している無線モードが表示されます。
	SSID	ネットワーク2)のSSID（ネットワーク名）が表示されます。
	無線チャンネル	ネットワーク2)で使用している無線チャンネル番号が表示されます。
	暗号化方式	ネットワーク2)で使用している暗号化方式が表示されます。
	接続中の機器数	ネットワーク2)に接続している無線機器の数が表示されます。
	BSSID	ネットワーク2)のBSSIDが表示されます。
	MACアドレス	ネットワーク2)で使用しているMACアドレスが表示されます。

設定機能名	設定項目	内容
WAN設定情報	WAN IPアドレス取得	WANのIPアドレスの取得方法が表示されます。
	WAN IPアドレス	WANのIPアドレスが表示されます。
	WAN サブネットマスク	WANのサブネットマスクが表示されます。
	WAN デフォルトゲートウェイ	WANのデフォルトゲートウェイが表示されます。
	WAN MACアドレス	WANのMACアドレスが表示されます。

6－3 Wi-Fi設定

6－3－1 Wi-Fi基本設定

本製品の無線周波数の設定やチャンネル幅など、Wi-Fiの基本設定について設定できます。

設定機能名	設定項目	内容
Wi-Fi設定		
Wi-Fi基本設定		
5GHz無線		「有効」を選択すると5GHzの無線通信が有効になります。 「無効」を選択すると、5GHzの無線通信 を無効にします。 初期値：有効
	無線チャンネル	無線で使用するチャンネル番号を設定します。 「Auto」のときは、空いているチャンネル番号が自動で割り当てられます。 チャンネルを指定するときは、「チャンネル指定（36-140ch）」を選択し、チャンネル番号を36/40/44/48/52/56/60/64/100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140chのいずれかに設定してください。 ※「36/40/44/48」以外を選択した場合は、DFS機能により設定したチャンネルとは異なるチャンネルが選択される場合があります。 初期値：Auto
	チャンネル幅	無線のチャンネル幅を設定します。 「20MHz」、「20/40MHz」または「20/40/80MHz」のいずれかを選択してください。 初期値：20/40/80MHz
	無線周波数出力	無線電波の出力を設定できます。集合住宅などで、無線電波を遠くに飛ばしたくないときは、小さな数値を選択してください。 「100%」、「70%」、「50%」、「35%」、「15%」のいずれかを選択してください。 初期値：100%

お読みください

- Nexusシリーズ等、W52にのみ対応している端末では、無線チャンネルが「Auto」に設定されW53,W56のチャンネルが選択された場合、Wi-Fi接続が出来ません。W52のチャンネル番号36/40/44/48chのいずれかを選択してください。
  ■確認済端末
  Nexus6、Nexus7、Nexus9

- 5GHz無線のチャンネル幅を「20MHz」に設定した場合、一部の端末でWi-Fi接続できません。
  ■確認済端末
  SAMSUNG　GALAXY Note3(SCL22)
  LG　isai（LGL22）

設定機能名	設定項目	内容
Wi-Fi設定		
Wi-Fi基本設定		
2.4GHz無線		「有効」を選択すると2.4GHzの無線通信が有効になります。 「無効」を選択すると、2.4 GHzの無線通信を無効にします。 初期値:有効
	無線チャンネル	無線で使用するチャンネル番号を設定します。「Auto」のときは、空いているチャンネル番号(1-11ch)が自動で割り当てられます。チャンネルを指定するときは、「チャンネル指定(1-13ch)」を選択し、チャンネル番号を「1」～「13」のいずれかに設定してください。 初期値:Auto
	チャンネル幅	無線のチャンネル幅を設定します。 「20MHz」、「20/40MHz」のいずれかを選択してください。 通常は「20/40MHz」を選択してください。 初期値:20/40MHz
	無線周波数出力	無線電波の出力を設定できます。集合住宅などで、無線電波を遠くに飛ばしたくないときは、小さな数値を選択してください。 「100%」、「70%」、「50%」、「35%」、「15%」のいずれかを選択してください。 初期値:100%

ワンポイント

- [適用]をクリック(タップ)しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず[適用]をクリック(タップ)してください。

6−3−2　ネットワーク1)/ネットワーク2)の設定

本製品の無線周波数の設定やチャンネル幅など、Wi-Fiの基本設定について設定できます。

ネットワーク1)の設定

設定機能名	設定項目	内容
Wi-Fi設定		
ネットワーク1)の設定	ネットワーク1)の文字列(SSID)	ネットワーク1)のネットワーク名が表示されます。 ネットワーク1)のネットワーク名を変更したいときは、変更したい文字列を入力してください。 初期値:本製品底面のラベルをご覧ください。
	通信の暗号化方式	Wi-Fi の暗号化方式を設定します。 「WPA2」または「WPA/WPA2 mixed mode」のいずれかを選択します。 初期値:WPA2
	通信の暗号化キー(プレシェアード)	「WPA2」、「WPA/WPA2 mixed mode」で使用する暗号化キーを入力します。 暗号化キーは8〜64文字の16進数または、8〜63文字の半角数字と「a」〜「z」、「A」〜「Z」の半角英字、および下記の記号※1を組み合わせた文字列で設定してください。 初期値:本製品底面のラベルをご覧ください。

※1 ！″＃＄％＆’（）＊＋，－．／：；＜＝＞？＠［￥］＾＿｀｛｜｝￣

ネットワーク2)の設定

設定機能名	設定項目	内容
Wi-Fi設定		
ネットワーク2)の設定	ネットワーク2)の文字列(SSID)	ネットワーク2)のネットワーク名が表示されます。 ネットワーク2)の文字列を変更したいときは、変更したい文字列を入力します。 初期値：本製品底面のラベルをご覧ください。
	通信の暗号化方式	Wi-Fiの暗号化方式を設定します。 「WPA2」または「WPA/WPA2 mixed mode」のいずれかを選択します。 初期値：WPA2
	通信の暗号化キー（プレシェアード）	「WPA2」、「WPA/WPA2 mixed mode」で使用する暗号化キーを入力します。 暗号化キーは8～64文字の16進数または、8～63文字の半角数字と「a」～「z」、「A」～「Z」の半角英字、および下記の記号※1を組み合わせた文字列で設定してください。 初期値：本製品底面のラベルをご覧ください。

※1 ！″＃＄％＆’（）＊＋，－．／：；＜＝＞？＠［￥］＾＿｀｛｜｝￣

6－3－3 WPS PINコード

無線LAN機器とPINコード方式でWPS接続します。

設定機能名			設定項目	内容
Wi-Fi設定				
	WPSのPINコード			[2.4GHz] または [5GHz]が選択できます。 初期値：5GHz
		2.4GHz	WPS ステータス	「Configured」または「Unconfigured」が表示されます。 初期値：configured ●「Unconfigured」の場合は、WPS開始時、接続する機器が対応している暗号・認証方式を自動的に選択しWPSを実行します。 ●「Configured」の場合はWPS開始時、本製品に設定されている暗号・認証方式を使用してWPSを実行します。 Unconfigured状態にしたいときは、[Unconfigured状態に戻す]をクリックしてください
			WPSのPINコード	本製品のWPSのPINコードが表示されます。
			接続機器のPINコード	接続機器の「PINコード」を入力します。 初期値：空欄
			WPSの開始	[WPSの開始]をクリック(タップ)すると、PINコード方式のWPS接続を開始します。
		5GHz	WPS ステータス	「Configured」または「Unconfigured」が表示されます。 初期値：configured ●「Unconfigured」の場合は、WPS開始時、接続する機器が対応している暗号・認証方式を自動的に選択しWPSを実行します。 ●「Configured」の場合はWPS開始時、本製品に設定されている暗号・認証方式を使用してWPSを実行します。 Unconfigured状態にしたいときは、[Unconfigured状態に戻す]をクリックしてください
			WPSのPINコード	本製品のWPSのPINコードが表示されます。
			接続機器のPINコード	接続機器の「PINコード」を入力します。 初期値：空欄
			WPSの開始	[WPSの開始]をクリック(タップ)すると、PINコード方式のWPS接続を開始します。

6−4 本体設定

6−4−1 ユーザー設定

本製品の設定画面(Web UI)にログインするためのパスワードが設定できます。

設定機能名		設定項目	内容
本体設定			
	ユーザー設定	ユーザー名	本製品にログインするときに使用するユーザー名が表示されます。 初期値:au
		パスワード	本製品の設定画面(Web UI)にログインするためのパスワードを変更する場合、任意のパスワードを入力します。 初期値:本体裏面記載のパスワード ※入力したパスワードは●で表示されます。
		パスワードの確認	確認のため、「パスワード」に入力した任意のパスワードを入力します。 [適用]をクリック(タップ)すると本製品の設定画面(WebUI)にログインするためのパスワードが変更されます。

6－4－2 WANの設定

インターネットの接続など、WANについて設定できます。

設定機能名		設定項目	内容
本体設定			
	WANの設定	WANの接続の種類	選択したWANの種類で動作します。 「DHCP」、「PPPoE」または「固定IP」のいずれかを選択します。 初期値：DHCP
		ユーザ名 ※1	PPPoEプロバイダ指定のユーザ名を入力します。 初期値：空欄
		パスワード ※1	PPPoEプロバイダ指定のパスワードを入力します。 初期値：空欄
		IPアドレス ※2	プロバイダや上位のルータから割り当てられた固定のIPアドレスを入力します。 初期値：空欄
		サブネットマスク ※2	プロバイダや上位のルータから割り当てられたサブネットマスクを入力します。 初期値：空欄
		デフォルトゲートウェイ ※2	プロバイダや上位のルータから割り当てられた固定のIPアドレスを入力します。 初期値：空欄
		MTU値	MTU値（最大転送可能データサイズ）を設定します。 初期値：1454 ※1 初期値：1500 ※2 初期値：1492 ※3
		接続タイプ ※1	PPPoEの接続タイプを設定します。 「常時接続」または「手動接続」のどちらかを選択します。 初期値：常時接続
		DNS自動接続※1,3	DNSを自動で取得します。 初期値：オン
		DNS手動設定※1,3	DNSを手動で取得します。 初期値：オフ

設定機能名		設定項目	内容
本体設定			
	WANの設定	プライマリDNSアドレス	プロバイダ指定のプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。 初期値：空欄
		セカンダリDNSアドレス	プロバイダ指定のセカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力します。 初期値：空欄
		WAN MACアドレスの設定	インターネットに接続するパソコンを特定する場合に、そのパソコンのMACアドレスを設定します。 初期値：本製品のWAN側MACアドレス

※1「WANの接続の種類」で「PPPoE」を選択したときのみ表示されます。
※2「WANの接続の種類」で「固定IP」を選択したときのみ表示されます。
※3「WANの接続の種類」で「DHCP」を選択したときのみ表示されます。

ワンポイント

- MTU値は「WANの接続の種類」の設定によって設定できる範囲が異なります。
  「PPPoE」：1360～1492bytes
  「DHCP」 ：1400～1492bytes
  「固定IP」：1400～1500bytes

6－4－3 UPnPの設定

UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）機能

設定機能名		設定項目	内容
本体設定			
	UPnPの設定	UPnPを使った通信ポートの自動設定	「有効」を選択すると、本製品に接続している様々な機器同士を、同一ネットワーク上で利用することができます。 初期値：無効

6－4－4 ポートフォワーディングの設定

ポートフォワーディング機能の設定ができます。
ポートフォワーディングは、最大で20個まで登録できます。

設定機能名		設定項目	内容
本体設定			
	ポートフォワーディングの設定	手動でポートフォワーディングする機能	「有効」を選択すると、特定のポートに対して外部（インターネット）からアクセスがあったときに、本製品のLAN側にある機器に通信を転送します。 初期値：無効
		転送先LAN側IPアドレス	ポートフォワーディングしたい機器のIPアドレスを入力します。 初期値：空欄
		WAN側からLAN側へ転送するポート範囲	ポートフォワーディングしたいポートの範囲を入力します。 初期値：空欄
		転送の対象とするプロトコル	「TCP」、「UDP」または「TCP/UDP」のいずれかから選択します。 初期値：TCP
		登録済み情報	登録したポートフォワーディング情報がリストに表示されます。 リストから削除したいときは、削除したい情報の「選択」にチェックを入れ、[削除]をクリック（タップ）してください。

6−4−5 バージョンアップ

本製品のソフトウェアをバージョンアップできます。新しいソフトウェアがあるときは、ソフトウェアをバージョンアップすることをおすすめします。

設定機能名	設定項目	内容
本体設定		
バージョンアップ	−	[チェック]をクリック(タップ)することで、新しいバージョンのソフトウェアがあるか確認できます。新しいバージョンのソフトウェアが見つかった場合には、自動的にバージョンアップを実行します。

ワンポイント

- 新しいバージョンのソフトウェアが見つからないときは、「新しいソフトウェアはありません。」というメッセージが表示されます。

ソフトウェアのバージョンアップ中は、絶対に電源を切らないでください。
本製品が使用できなくなるおそれがあります。

6−4−6 SPIの設定

設定機能名	設定項目	内容
本体設定		
SPIの設定	−	SPIを有効にすると、戻りのパケットに対して送信したパケットの情報を元に整合性の判断を行い、不正なパケットを破棄します。 初期値:有効

6−4−7 パススルーの設定

プロトコルやIPアドレスの変換を行わずに、パケットを通過させることができます。

設定機能名	設定項目	内容
本体設定		
パススルーの設定	IPv6パススルー	IPv6プロトコルが必要なサービスをご利用の場合、IPv6パススルー機能を使用して、IPv6による通信を行うことができます。 初期値:無効

ワンポイント

- 「IPsec」,「PPTP」,「PPPoE」については、変更不可で初期値は「有効」です。

6−4−8 再起動

本製品を再起動できます。

設定機能名	設定項目	内容
本体設定		
再起動	−	[再起動]をクリック(タップ)すると、本製品が再起動します。

再起動の手順について、詳しくは「5−10 本製品を再起動する」(p.109)をご覧ください。

ワンポイント

- 設定画面(Web UI)以外から再起動したいときは、ACアダプタを抜いて電源を切ってから、再度ACアダプタを接続して電源を入れてください。

6−4−9　本体時刻設定

本製品の時刻について設定できます。

設定機能名	設定項目	内容
本体設定		
本体時刻設定	ネットワークから時刻を取得する	「有効」を選択すると、ネットワーク上の時刻サーバを利用して本製品の時計が自動調整されます。 「無効」を選択すると自動調整を行いません。 手動で時刻を設定したいときに、選択してください。 初期値：有効
	現在時刻	本製品の現在時刻が表示されます。手動で時間を調節するときは、現在の時刻を入力し、[適用]をクリック（タップ）してください。 ※「ネットワークから時刻を取得する」が「無効」の場合のみ、設定できます。

6−4−10　初期化

本製品を初期化します。

設定機能名	設定項目	内容
本体設定		
初期化	−	[初期化]をクリック（タップ）すると、初期化が開始されます。

ワンポイント

- 初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。
  初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。
- 本製品背面のリセットボタンを押すことにより初期化することもできます。
  詳しくは、「7−3 本製品を初期化するには」（p.152）をご覧ください。

6−4−11 お子様の利用制限

お読みください

- 本機能を有効にするときは、はじめに本製品に接続している無線LAN機器のMACアドレスを登録してください。

MACアドレスを登録した機器のみ本製品へのアクセスを許可し、登録の無い機器はアクセスを禁止します。
最大で20個まで設定できます。
※ 有線LAN接続機器は、本機能の対象外です。

設定機能名	設定項目	内容
本体設定		
お子様の利用制限	接続を許可したいMACアドレスの登録	お子様の利用制限機能を使用する場合は、「有効」を選択してください。 使用しない場合は「無効」を選択してください。 ※「有効」にすると、「WPS接続」は使用できません。 初期値：無効
	許可するMACアドレスの登録	アクセスを許可する機器のMACアドレスを入力します。 ［適用］をクリック（タップ）すると、入力したMACアドレスが「許可されたMACアドレス」に登録されます。 初期値：空欄
	許可する曜日と時間帯の設定	設定を有効にしたい「曜日」と「時間帯」を選択します。 初期値：空欄
	登録したMACアドレスの削除	MACアドレスの［選択］にチェックを入れ［削除］をクリック（タップ）してください。

6−4−12 APモードの設定

APモードを利用する

設定機能名		設定項目	内容
本体設定			
	APモードの設定	−	[APモードを利用する]を選択するとAPモードに切り替わります。 [APモードを利用しない]を選択すると、ルータモードに戻ります。 初期値:APモードを利用しない

故障とお考えになる前に

7−1 パソコンの設定について

お使いのパソコンのIPアドレスがDHCPサーバから自動取得になっていないときに、本製品にネットワーク接続できないことがあります。そのときは、お使いのOSに合わせて、IPアドレスを自動取得に変更してください。

Windows 8/Windows 7/Windows Vistaをお使いのとき

「7−1−1 Windows 8/Windows 7/Windows Vista編」(p.140) へお進みください

MAC OS Xをお使いのとき

「7−1−2 Mac OS X編」(p.144) へお進みください

7−1−1 Windows 8/Windows 7/Windows Vista編

お読みください

- この作業を行うには管理者権限を持つユーザーでログオンする必要があります。
  以下の操作手順および表示画面はWindows 7の初期状態の場合です。
  Windows 7の設定によっては異なる場合があります。
- Windows 8/Windows Vistaをご使用の場合は、画面の表示が異なる場合があります。

1 画面左下の［スタート］をクリック（タップ）する

- Windows 8は画面右下の設定をクリック(タップ)する。

2 「コントロールパネル」をクリック（タップ）する

3 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリック（タップ）する

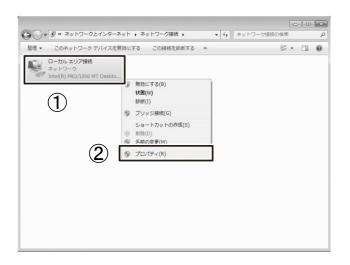
4 「アダプターの設定の変更」をクリック（タップ）する

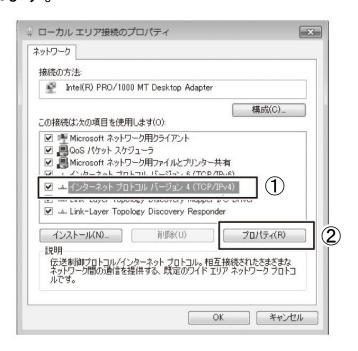
● Windows Vistaのときは「ネットワーク接続の管理」をクリック（タップ）します。

5 ローカルエリア接続を右クリック（タップ）して「プロパティ」をクリック（タップ）する

「ローカルエリア接続のプロパティ」の画面が表示されます。

● 無線LAN側のIPアドレスを自動取得に設定するときは、「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリック（タップ）して、[プロパティ]をクリック（タップ）してください。

● 「ユーザーアカウント制御」が有効になっている場合は、確認画面が表示されます。そのときは、[はい]または[続行]をクリック（タップ）してください。

6 「インターネット プロトコル バージョン4(TCP/IPv4)」を選択して、［プロパティ］をクリック（タップ）する

「インターネット プロトコル バージョン4（TCP/IPv4）のプロパティ」の画面が表示されます。

7 「インターネット プロトコル バージョン4(TCP/IPv4)」を設定する

① 「全般」タブをクリック（タップ）する
② 「IPアドレスを自動的に取得する」を選択する
③ 「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択する
④ ［OK］をクリック（タップ）する
「ローカルエリア接続のプロパティ」の画面に戻ります。

［閉じる］をクリック（タップ）する

パソコンの設定が完了します。

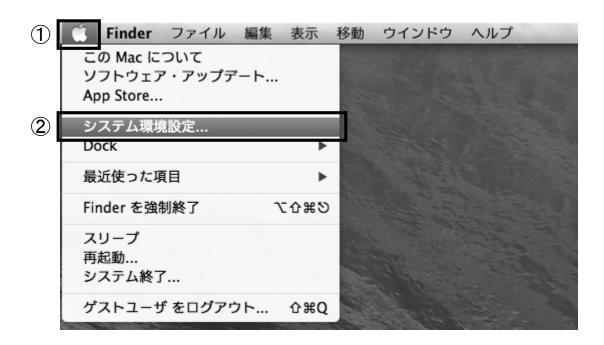
これでパソコンの設定が終わりました。再度「第4章 他のスマートフォンやパソコンを接続する」(p.58)を実行してください。

7−1−2 Mac OS X編

お読みください

- 本書で使用している画面はMac OS X 10.9.5の画面です。表示される画面はMac OSのバージョンによって異なります。

1 「アップルメニュー」→「システム環境設定」をクリック（タップ）する

「システム環境設定」の画面が表示されます。

ワンポイント

- 画面下のDock内の「システム環境設定」アイコンをクリック（タップ）しても、「システム環境設定」の画面が表示されます。

2 「インターネットとネットワーク」の「ネットワーク」アイコンをクリック（タップ）する

「ネットワーク」の画面が表示されます。

お読みください

- 「システム環境設定」に「ネットワーク」アイコンが表示されないときは、「すべてを表示」アイコンをクリック（タップ）します。

3 左側のリストから「Ethernet」をクリック（タップ）する

「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」が表示されます。

IPアドレスの取得設定を変更する

① 「構成」から「DHCPサーバを使用」を選択する
② [適用]をクリック(タップ)する

これでパソコンの設定が終わりました。「第4章 他のスマートフォンやパソコンを接続する」(p.58)を実行してください。

7−2 トラブルシューティング

症状	原因	解決方法	参照ページ
すべてのLEDランプが点灯しない	ACアダプタが正しく接続されていない	ACアダプタが正しく接続されているかをご確認ください。	p.35
	同梱品以外のACアダプタを使用している	本製品に付属のACアダプタをお使いください。	p.8
	延長コードやタップを多く使用している	延長コードやタップを使わないで、再度ご確認ください。	−
	動作不良を起こしている	いったんACアダプタをコンセントから抜き、しばらく経ってから再度電源を入れてください。	−
	本製品が故障している	本製品の不具合の可能性があります。付属の「保証書」に記載の内容を必ずご確認いただき、ご同意のうえで、交換を依頼してください。	−
無線接続ができない	本製品と無線機器との距離が離れすぎている	本製品に無線機器を近づけて、再度ご確認ください。	−
	本製品と無線機器との間に障害物がある	障害物がない状態で、再度ご確認ください。	−
	電子レンジの近くで無線接続している	電子レンジから離れた場所で、再度ご確認ください。	p.25
	Wi-Fiの使用が無効になっている	本製品にログインし、設定を有効に変更して、再度ご確認ください。	p.123
	本製品に接続している機器のIPアドレスが「自動取得」になっていない	お使いの機器のIPアドレスを「自動取得」に設定して、再度ご確認ください。	p.139
	本製品と無線機器で異なるネットワークの設定になっている	本製品とお使いの機器で、ネットワークおよび暗号化方式を同一にして、再度ご確認ください。	p.126
	本製品と無線機器で異なるチャンネル番号になっている	本製品とお使いの機器で、無線周波数の周波数帯とチャンネル番号を同一にして、再度ご確認ください。	p.123

無線接続ができない	スマートフォンやPCでのWPS接続ができない	お使いのスマートフォンまたはPCが2.4GHzしか対応していない可能性があります。本製品はデフォルトWPS接続では5GHzが有効となっているため、設定画面からWPSの接続先を2.4GHzに変更して、再度WPS接続をお試しください。	p.88
	インターネットにつながるがDLNAを使用している家の中の別の機器との通信ができなくなった	以下のいずれかの方法でご使用ください。 ①すべてのネットワーク機器を本製品のLAN側配下に接続してお使いください。 ②本製品の上位に別のブロードバンドルーターをご使用の場合は、設定画面から「APモードを利用する」に変更してください。 ③本製品の上位に別のブロードバンドルータを設置していただき、その配下にDLNA機器を接続してお使いください。	–
	上記以外のとき	本製品を初期化し、再度実行してください。	p.113

お読みください

- 中継器の親機として接続できない場合があります。
  - ■ 確認済端末
    NEC　WG1800HP2

症状	原因	解決方法	参照ページ
インターネットに接続できない	動作モードを変更したり、ネットワークの設定を変更した	動作モードを変更したり、設定を変えた後は、しばらくインターネットに接続できないことがあります。そのときは2～3分ほど待ち、再度ご確認ください。	–
	本製品に接続している機器のIPアドレスが「自動取得」になっていない	お使いの機器のIPアドレスを「自動取得」に設定して、再度ご確認ください。	p.139

症状	原因	解決方法	参照ページ
インターネットに接続できない	ネットワーク変更後も古いIPアドレスの情報を持つネットワーク機器がある	本製品の電源を切って、30分ほどそのままの状態にして、再度ご確認ください。（通電状態でIPアドレスが保持される場合があるので、本製品の電源を切ってください。）	－
	接続したサイトにトラブルがある	別のホームページが表示されないかをご確認ください。	－
	上記以外のとき	本製品を初期化し、再度実行してください。	p.113
設定画面を表示できない	本製品に接続している機器のIPアドレスが「自動取得」になっていない	お使いの機器のIPアドレスを「自動取得」に設定して、再度ご確認ください。	p.139
	WEBブラウザにプロキシサーバの設定をしている	プロキシサーバを使用しないで、再度ご確認ください。	－
	セキュリティソフトウェア（ウイルスチェック、ファイアウォールなど）を使用している	本製品のIPアドレス「192.168.254.1」を、「信頼済みサイト」や「例外サイト」に登録して再度ご確認ください。	－
本製品のLEDランプA/Bが緑点灯していない	本製品のソフトウェアを更新中（LEDランプAとLEDランプBが緑点滅（遅））	ソフトウェアの更新中です。ソフトウェアの更新が完了するまでしばらくお待ちになり、再度ご確認ください。 ※ソフトウェアの更新中は、電源を抜かないでください。	－
	本製品のIPアドレスが取得できない（LEDランプA が緑点灯、LEDランプBが赤点灯）	「2－3 本製品と利用する通信機器を接続する」(p.33)をご覧いただき、機器やケーブルが正しい場所に接続されていることを確認してください。	p.33
		モードがネットワークと合っていない可能性があります。ネットワークと合うものに設定し、再度ご確認ください。	p.126

症状	原因	解決方法	参照ページ
本製品のLEDランプA/Bが緑点灯していない	本製品が起動中（LEDランプAが赤点灯）	本製品が起動中です。しばらくお待ちになり、再度ご確認ください。	–
	WANリンク情報が取得できない（LEDランプAが緑点灯、LEDランプBが赤点滅）	モデム/ルータ/ONUの電源が入っていない可能性があります。電源が入ってるかをご確認ください。	–
		モデム/ルータ/ONUと本製品をつないでいるLANケーブルの不具合の可能性があります。別のLANケーブルで接続し、再度ご確認ください。	–
	本製品が起動しない（LEDランプAが赤点滅）	本製品にプロバイダの情報を登録する必要があります。「5－7－2 PPPoE接続に変更する」（p.95）をご覧いただき、設定してください。	–
		上記以外のときは、本製品の不具合の可能性がありますので、付属の「保証書」に記載の内容を必ずご確認いただき、ご同意のうえで、交換を依頼してください。	
	本製品の電源が入らない（すべてのLEDランプが消灯）	ACアダプタが正しく接続されているかをご確認ください。	p.35
		上記以外のときは、本製品の不具合の可能性があります。付属の「保証書」に記載の内容を必ずご確認いただき、ご同意のうえで、交換を依頼してください。	–
	8－1－2 LEDランプの表示に記載されていない点灯をする場合	本製品の不具合の可能性があります。付属の「保証書」に記載の内容を必ずご確認いただき、ご同意のうえで、交換を依頼してください。	–
	本製品のリセットボタンを5秒以上押しても、LEDランプAが赤点滅とならない場合	本製品の不具合の可能性があります。付属の「保証書」に記載の内容を必ずご確認いただき、ご同意のうえで、交換を依頼してください。	–

症状	原因	解決方法	参照ページ
本製品のLEDランプA/Bが緑点灯していない	本製品をリセットした状態で、WPSボタンを2秒以上押しても、LEDランプAとLEDランプBが緑点滅(速)とならない場合	本製品を初期化(p.113)し、本製品背面のWPSボタンを2秒以上押し続けてもLEDランプAとLEDランプBが緑点滅(速)にならない場合、本製品の不具合の可能性があります。付属の「保証書」に記載の内容を必ずご確認いただき、ご同意のうえで、交換を依頼してください。	–

お読みください

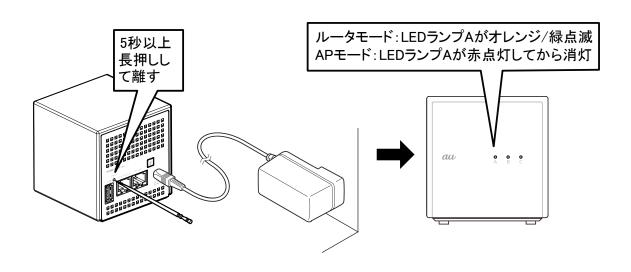
- 故障交換の案内
  本製品の不具合の可能性がある場合、付属の「保証書」に記載の内容を必ずご確認いただきご同意のうえで故障交換を依頼してください。

7－3 本製品を初期化するには

ワンポイント

- 初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。
- 本製品の設定画面（Web UI）から初期化することもできます。詳しくは、「5－12 初期化」（p.113）をご覧ください。

1 本製品背面のリセットボタンを5秒以上長押しして離す

リセットボタンをつまようじのような先の細いもので、5秒以上長押しして、離してください。LEDランプAが、ルータモードの場合はオレンジ/緑点滅し、APモードの場合は赤点滅してから消灯します。

2 本製品が再起動することを確認する

以上で設定は完了です。

付録

8−1 製品仕様

8−1−1 仕様項目一覧

製品本体

型番	ECS31RWA
無線部仕様	
対応規格	IEEE802.11b IEEE802.11g IEEE802.11a IEEE802.11n/2x2MIMO IEEE802.11ac/2x2MIMO
周波数帯域チャンネル	2.4GHz帯(2,412~2,472MHz): 1~13ch ※ AUTOは 1 ～ 11chに設定されます。 [W52] 5.2GHz 帯(5,180~5,240MHz): 36/40/44/48ch [W53] 5.3GHz 帯(5,260~5,320MHz): 52/56/60/64ch [W56] 5.6GHz 帯(5,500~5,700MHz): 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch
伝送速度	IEEE802.11b: 最大 11Mbpss IEEE802.11g: 最大 54Mbps IEEE802.11a: 最大 54Mbps IEEE802.11n: 最大 300Mbps IEEE802.11ac: 最大 866Mbps
伝送方式	IEEE802.11b: 直接拡散型スペクトラム拡散(DSSS方式) IEEE802.11g: 直交波周波数分割多重変調(OFDM方式) IEEE802.11a: 直交波周波数分割多重変調(OFDM方式) IEEE802.11n: 直交波周波数分割多重変調(OFDM方式) IEEE802.11ac: 直交波周波数分割多重変調(OFDM方式)
アンテナ	内蔵アンテナ2本(2.4GHz/5GHz: 2T2R)
アクセス方式	インフラストラクチャモード
自動無線設定機能	WPS
セキュリティ	WPA2 WPA/WPA2 mixed mode
有線部仕様	
対応規格	IEEE802.3ad(1000BASE-T) IEEE802.3u(100BASE-TX) IEEE802.3i(10BASE-T)

インターフェース	RJ-45ポートx2(WANx1、LANx1)、USBポートx1
伝送速度	WAN:1000/100/10Mbps　LAN:100/10Mbps (MDI/MDIX、オートネゴシエーション)
ソフトウェア仕様	
動作モード	Router/AP
対応プロトコル	TCP/IP(IPv4)
インターネット接続方法	DHCP、PPPoE、固定 IPアドレス
WAN回線自動判別	WAN 回線自動判別機能搭載
WAN設定	IPアドレス自動取得(DHCPクライアント) 固定IPアドレス(手動設定)
LAN設定	DHCPサーバ
無線利用方式	5GHz IEEE802.11n/a/acと 2.4GHz IEEE802.11n/g/bは同時利用可能
アドレス変換	NAPT
フィルタ機能	Wi-Fi MACフィルタ
IPv6関連	IPv6ブリッジ機能(IPv6パススルー)
VPN関連	IPsecパススルー、PPTPパススルー、PPPoEパススルー
省エネ設定	EEE
ハードウェア仕様	
ハードウェアスイッチ	WPSボタン、リセットボタン
消費電力	最大8W
電源	DC10.5V 1.5A
外形寸法	約76(W)x80(H)x76(D)mm ※底面シリコンゴム足を含む
質量	約 232g
動作時環境	温度: 0～40℃ 湿度: 20～85%(結露しないこと)
保存時環境	温度: -20～60℃ 湿度: 5～90%(結露しないこと)

その他	
設定画面(Web UI)に対応した OS およびブラウザ	● Windows 8.1 (32bit/64bit)/Windows 8(32bit/64bit)/ Windows 7(32bit/64bit)/Vista(32bit/64bit) Microsoft IE 9/10/11、Firefox 8/22、Safari 5.1.x、Chrome 15/29 ● Android 2.3/3.2/4.0/4.1/4.x、Android の標準ブラウザ ● Mac OS X 10.7.5-10.10、Safari 6.0.5-8.0.4 ● iPhone iOS 8.x

注意事項

※ ブラウザによる設定の際に、一部のブラウザでは正常に表示できない場合があります。
※ 本製品のソフトウェアは、当社の都合により追加、変更する場合があります。
※ WPA/WPA2 を利用するためには、接続するWi-Fi機器もWPAまたはWPA2に対応している必要があります。
※ WPSを利用するためには、接続するWi-Fi機器もWPSに対応している必要があります。
※ 表示の数値は、Wi-Fi規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
※ IEEE802.11n/a/ac W52/W53の屋外での利用は禁じられています。

ACアダプタ

外形寸法	約34.1(W)x49.5 (H)x72.6(D)mm ※突起部を除く
質量	約 95g
定格電圧	入力: AC 100-240V(50/60Hz) 20-40VA 出力: DC 10.5V 1.5 A
保証動作環境	温度: 0℃～40℃ 湿度: 8%～ 90%(結露しないこと)
保証保存環境	温度: -20℃～85℃ 湿度: 5%～95%(結露しないこと)

8－1－2 LEDランプの表示

LEDランプの位置および名称については、「1－3 各部の名称とはたらき」（p.9）をご覧ください。

<table>
<tr><th colspan="2">LEDランプ A</th><th rowspan="2">LED
ランプ B</th><th rowspan="2">LED
ランプ C</th><th rowspan="2">動作状況</th></tr>
<tr><th>Router
モード</th><th>APモード</th></tr>
<tr><td colspan="2">消灯</td><td>消灯</td><td>消灯</td><td>電源が入っていない</td></tr>
<tr><td colspan="2">赤点灯</td><td>消灯</td><td>消灯</td><td>電源起動中</td></tr>
<tr><td colspan="2">赤点滅</td><td>消灯</td><td>消灯</td><td>準備中
システムエラー
「PPPoE」接続/ID・パスワード未設定</td></tr>
<tr><td colspan="2">緑点灯</td><td>消灯</td><td>消灯</td><td>システム起動中</td></tr>
<tr><td>緑点灯</td><td>消灯</td><td>赤点滅</td><td>消灯</td><td>リンクアップ失敗</td></tr>
<tr><td>緑点灯</td><td>消灯</td><td>赤点灯</td><td>消灯</td><td>DHCPからのIPアドレス取得失敗</td></tr>
<tr><td>緑点灯</td><td>消灯</td><td>消灯</td><td>赤点灯</td><td>「PPPoE」接続/ID・パスワード未設定</td></tr>
<tr><td>緑点灯</td><td>消灯</td><td>緑点滅
（遅）</td><td>消灯</td><td>インターネットへ接続中
「PPPoE」接続/ID・パスワード未設定</td></tr>
<tr><td colspan="2">緑点滅（遅）</td><td>緑点滅
（遅）</td><td>消灯</td><td>ソフトウェア更新中</td></tr>
<tr><td>緑点灯</td><td>消灯</td><td>緑点灯</td><td>消灯</td><td>インターネットへ接続完了</td></tr>
<tr><td colspan="2">緑点滅（速）</td><td>緑点滅
（速）</td><td>消灯</td><td>WPS接続中</td></tr>
<tr><td colspan="2">緑点滅（速）</td><td>緑点灯</td><td>消灯</td><td>WPS接続失敗</td></tr>
<tr><td colspan="2">緑点灯</td><td>緑点滅
（遅）</td><td>消灯</td><td>WPS接続完了</td></tr>
<tr><td>オレンジ/
緑点滅（速）</td><td>赤点滅</td><td>－</td><td>－</td><td>初期化中</td></tr>
</table>

8−1−3 初期設定

お買い上げ時は、本製品の無線LANセキュリティが初期設定されています。本製品に接続する無線LAN機器を設定するときには、次の表で初期設定をご確認いただき、機器を設定してください。

	ネットワーク1)	ネットワーク2)
初期ネットワーク	本製品底面のラベルをご覧ください。	
通信の暗号化キー（初期パスワード）		
無線周波数	5GHz	2.4GHz
ネットワーク認証方式	WPA2	
暗号キーのフォーマット	パスフレーズ	
暗号化方式	AES	

8−2 アフターサービスについて

交換を依頼されるときは

交換については au ショップまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社の無償交換規定に基づき交換いたします。

はじめてガイドの故障チェックリストに該当する項目にチェック頂き、
下記をご持参の上最寄りのauショップへご来店ください。
●本製品
●付属品
●はじめてガイド
●保証書
●本製品お申込み（ご購入）時のお客様控えまたは納品書

ワンポイント

- 当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 交換した機械部品は当社にて回収しリサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

保証書について

保証書は、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、
内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記お客さまセンターへお問い合わせください。

auから販売している製品以外のスマートフォン・タブレットやパソコンと本製品の接続方法についてはご案内することができませんので、あらかじめご了承ください。

お客さまセンター
一般電話からは フリーコール 0077-7-111（通話料無料）
au電話からは　局番なしの157番（通話料無料）
受付時間　9:00〜20:00（年中無休）

8−3 知的財産権について

8−3−1 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft® Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
- Microsoft、 Windows® 8、Windows® 7、Windows Vista®、およびInternet Explorerは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OS、AppleおよびSafariは、米国Apple Computer,Incの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- AndroidおよびChromeは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- iPhoneはApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Firefoxは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Wi-Fi®は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi® CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの認証ロゴマークです。
- Wi-Fi® Protected Setup（WPS）は、Wi-Fi Allianceの商標です。

8−3−2 Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows 8 は、Microsoft® Windows® 8（Pro、Enterprise）の略です。
- Windows 7 は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Ultimate）の略です。

8－4　輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また、米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。
本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

8－5 GPLについて

【著作権情報】
本製品は、GNU General Public License(Version 2)、GNU Library General Public License(Version 2) が適用された下記のフリーソフトウェアを使用しています。
http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.0.htmlLinux

Linux Kernel (version 2.6.36)	Copyright® The Kernel.Org Organization. Inc. http://www.kernel.org
BusyBox (ver. 1.12.1)	Copyright® 1998-2008 Erik Andersen, Rob Landley, Denys Vlasenko and others. http://busybox.net
dnrd (ver. 2.20.3)	Copyright® 1998 Brad M. Garcia http://dnrd.sourceforge.net/
ppp (ver. 2.4.5)	Copyright® 1984-2000 Carnegie Mellon University. All rights reserved. http://ppp.samba.org/
iptables (ver. 1.4.7)	Copyright® netlter project http://www.netlter.org/
udhcp (ver. 1.12.1)	Copyright® Russ Dill, Matthew Ramsay, Chris Trew http://git.uclibc.org/udhcp/
mini_upnp (ver 1.6)	Copyright® MiniUPnP Project http://miniupnp.free.fr/

本製品は、BSD Berkeley Software Distribution License が適用された下記のフリーソフトウェアを使用しています。

OpenSSL (ver. 1.0.5j)	Copyright® 1992-2011 The FreeBSD Project. All rights reserved. http://www.freebsd.org/

索引

アルファベット

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

お問い合わせ先番号 お客さまセンター

一般電話からは　　　　　0077-7-111（通話料無料）
au電話からは　　　　　局番なしの157番（通話料無料）
Pressing“zero”will connect you to an operator, after calling“157”on your au cellphone.

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)

0120-977-033（沖縄を除く地域）
0120-977-699（沖縄）
上記電話番号は年中無休　※オペレータ対応は9:00～20:00

auから販売している製品以外のスマートフォン・タブレットやパソコンと本製品の接続方法についてはご案内することができませんので、あらかじめご了承ください。

発売元　KDDI株式会社・沖縄セルラー電話株式会社
輸入元　株式会社エクセル
製造元　ASKEY COMPUTER CORP.

2015年4月　第1版